

【緊急アンケート】

**新型コロナウイルス対策に向けた  
調査の結果について  
～買物・公園利用編～**

2020年5月18日

企画調整局データ解析チーム

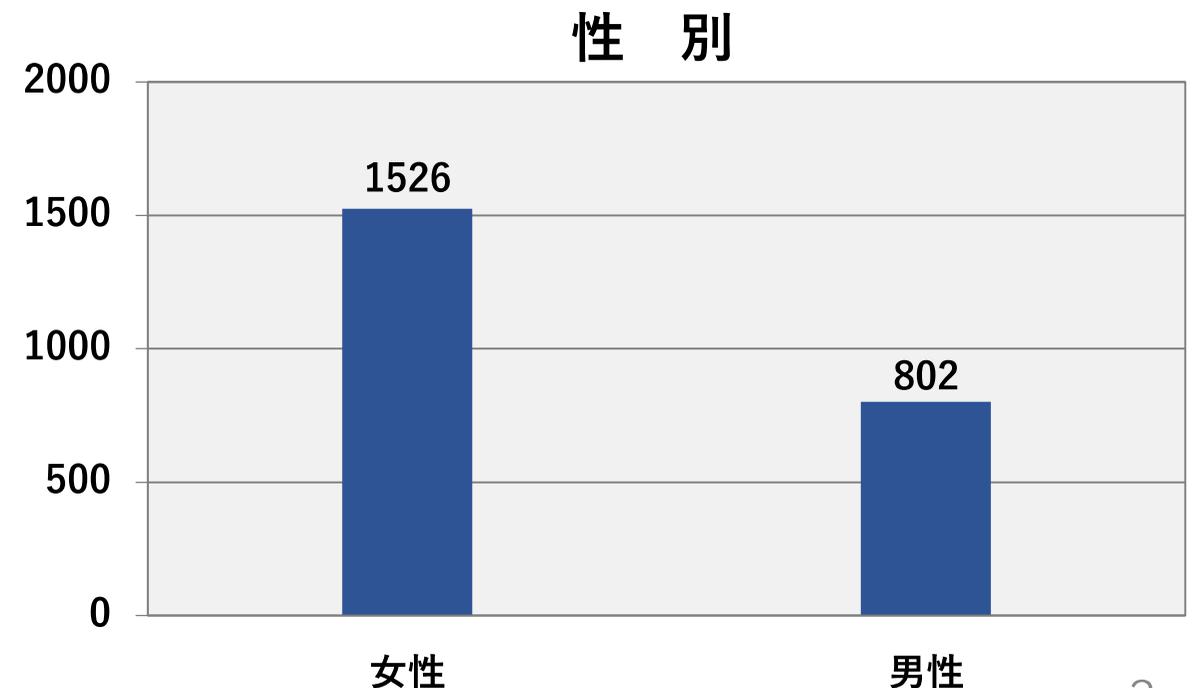
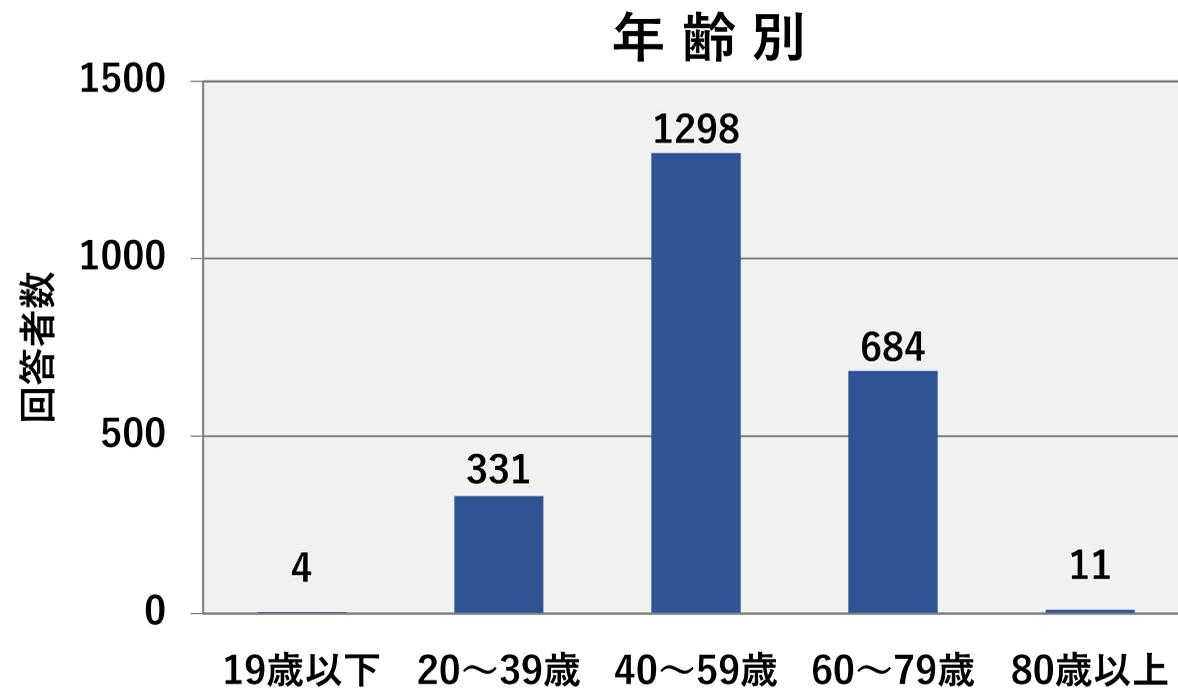
# 実施目的

---

- 政府により緊急事態宣言が発令され、外出自粛の意識が高まり、都心部への人の来訪は減少している
- 一方で、郊外部のスーパー・商店街などの買物施設や公園では人が集まり、密集・密接する空間が生じてしまう状況が懸念されている
- そこで、買物および公園利用の状況について把握するためにアンケートで状況を聴取し、その結果を集計・分析することで今後の対応に繋げていく

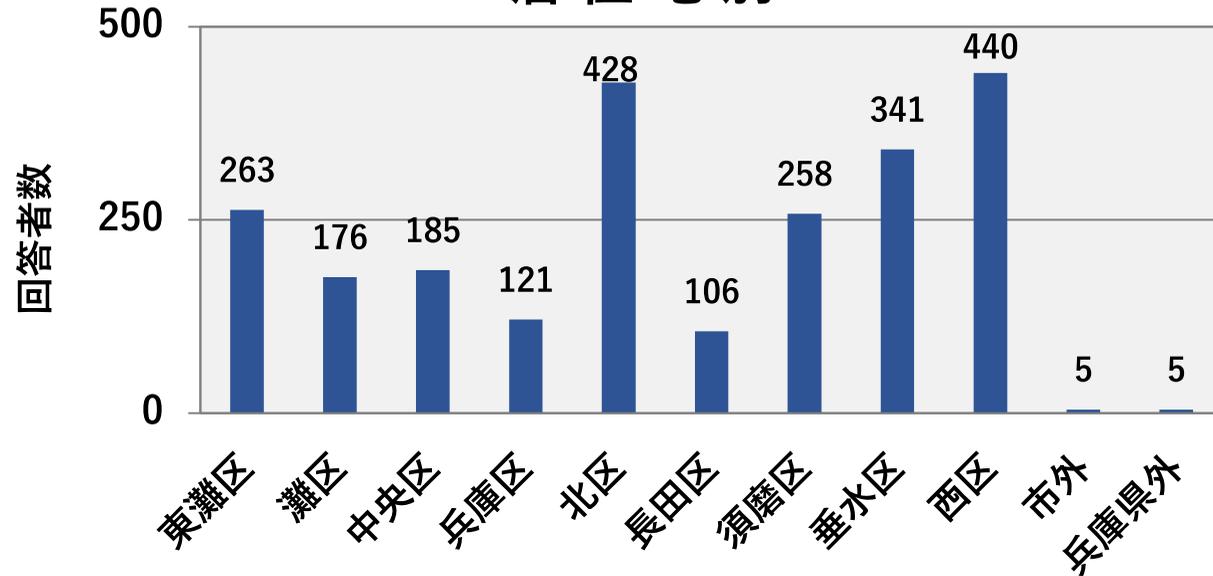
# アンケート概要及び回答者数

- 実施期間：5月1日（金）～6日（水）
- 対象者：情報共有アプリ「**KOBE ぽすと**」をインストールしている方
- 回答者数：2,328人

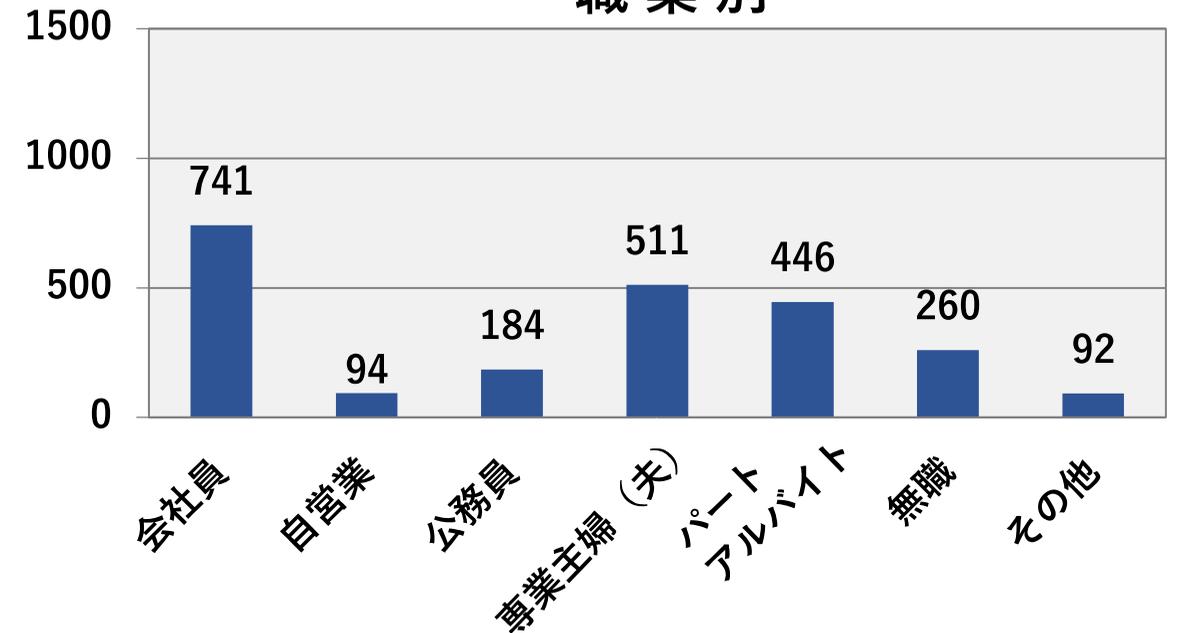


# 回答者の属性等

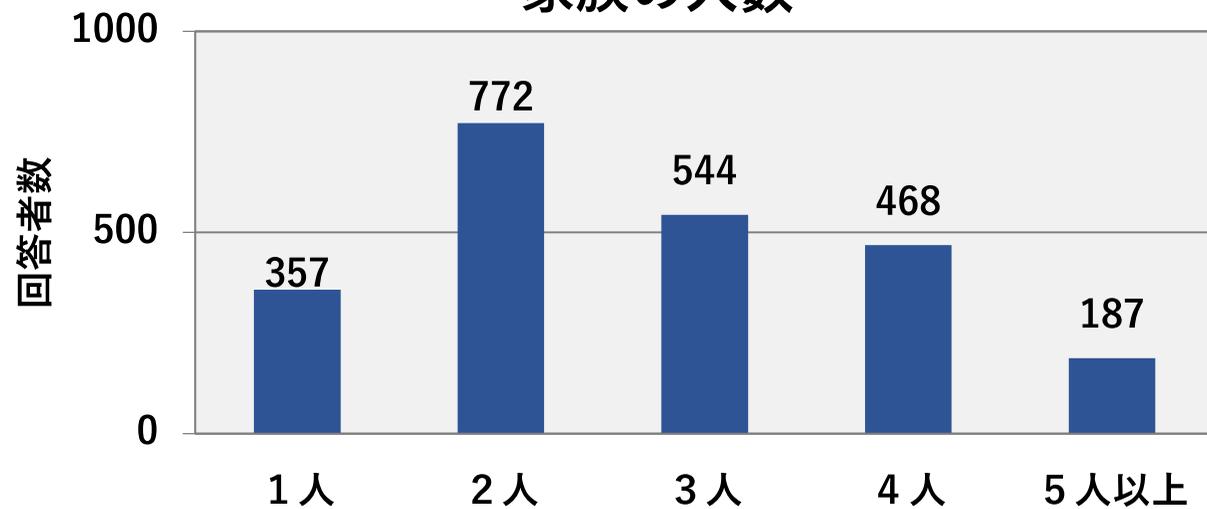
## 居住地別



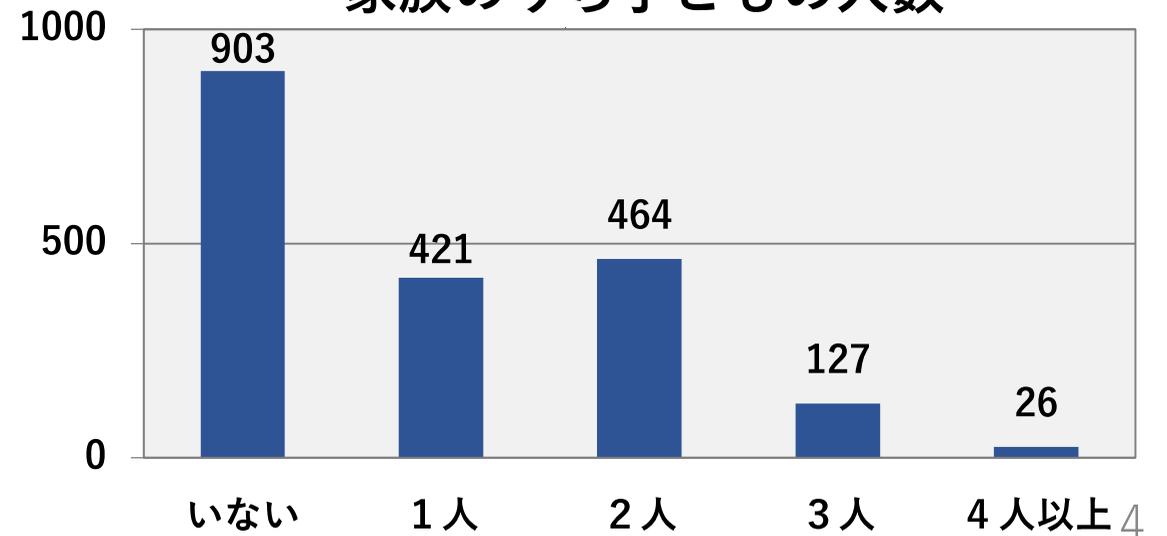
## 職業別



## 家族の人数

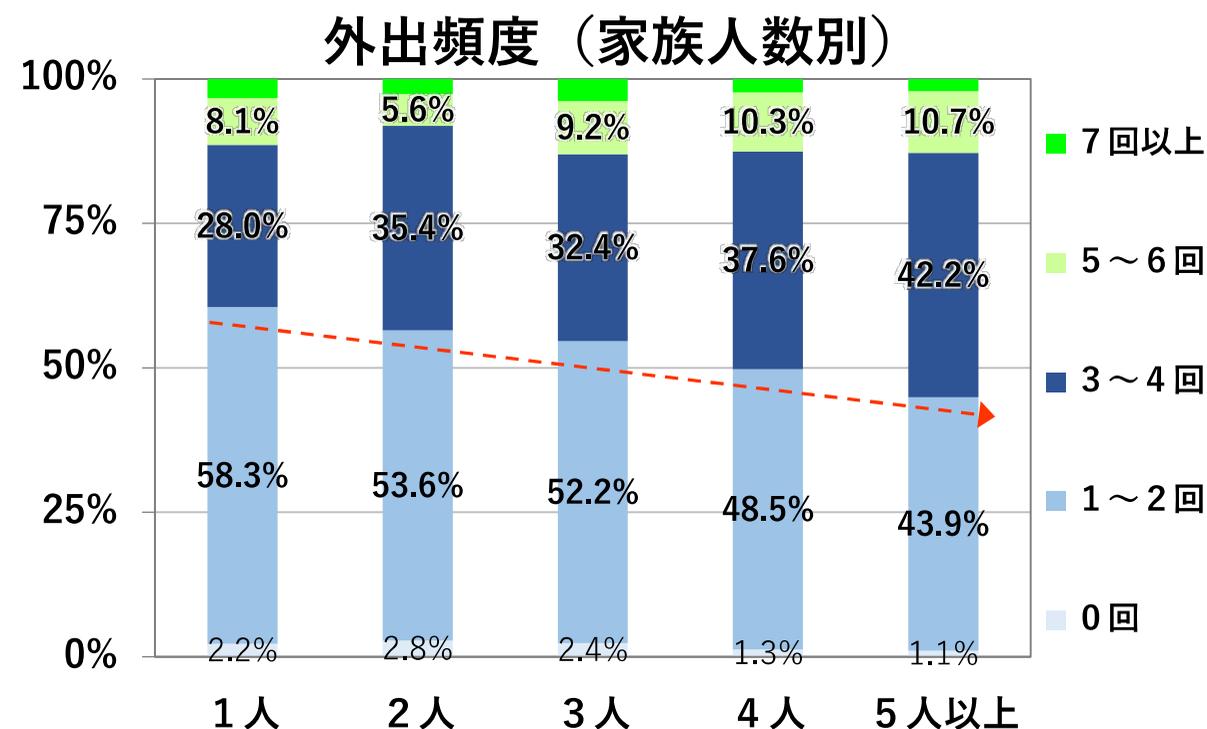
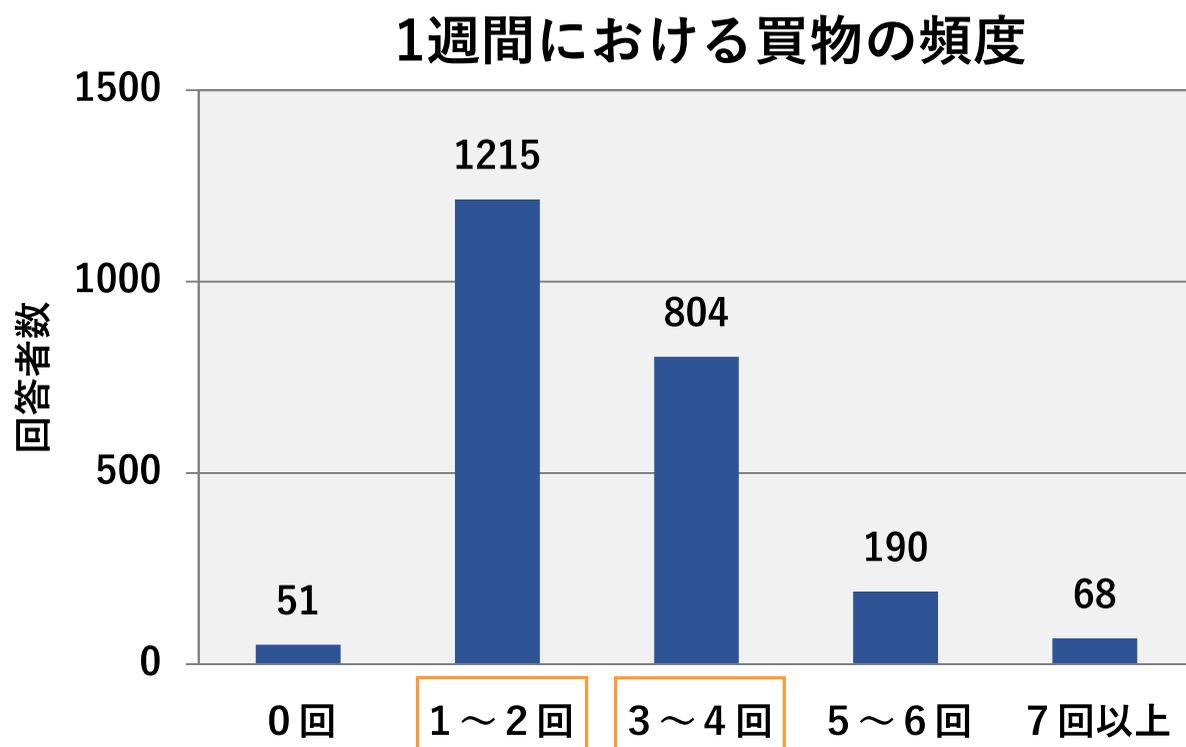


## 家族のうち子どもの人数



# 買物の外出状況

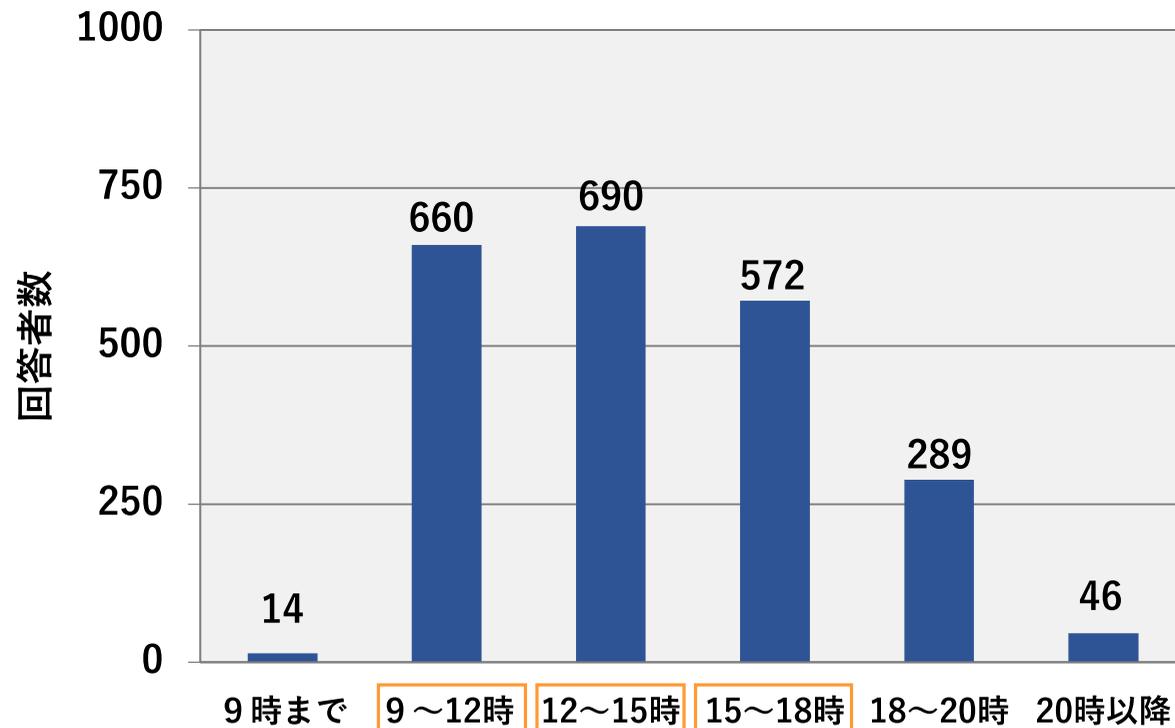
- 1週間の買物の頻度は「1～2回」「3～4回」が87%を占める
- 家族の人数が増えるほど1週間の買物の頻度が3回以上と回答する割合が高くなっている



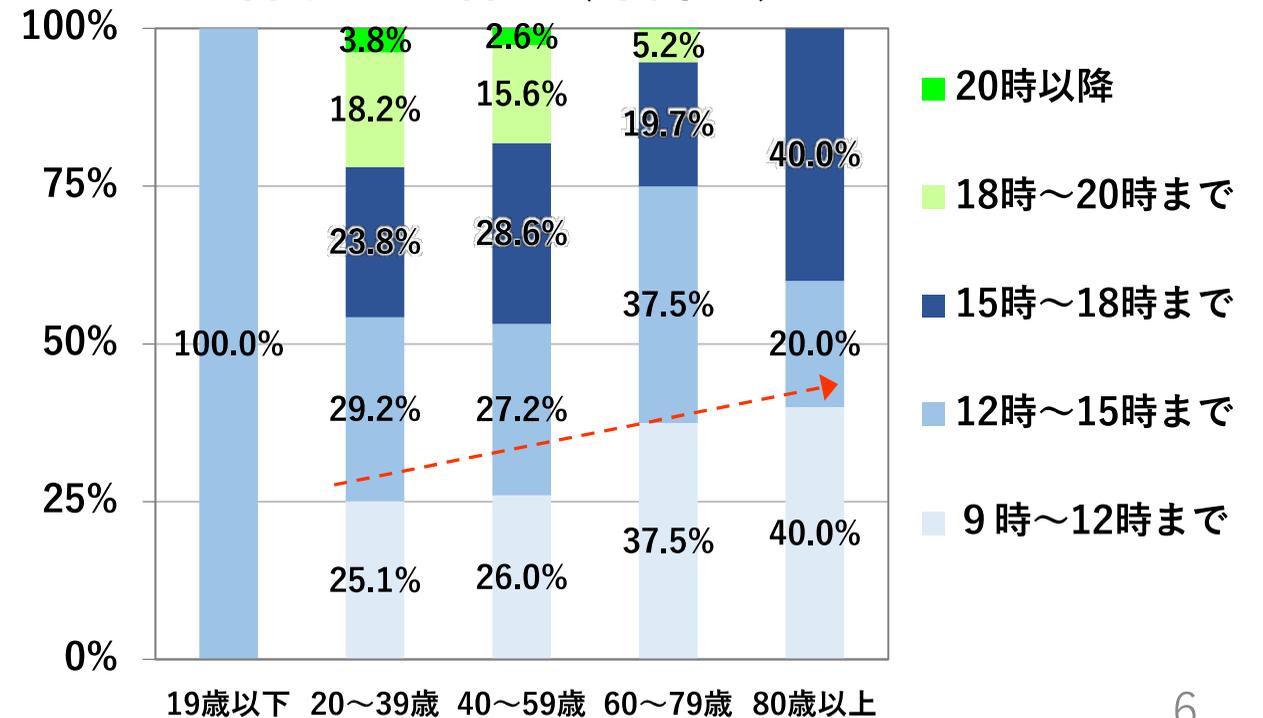
# 買物の外出状況

- 買物で外出する時間帯は9時～18時の間で分散している
- 年齢が上がるにつれて「9時～12時」で外出する割合が高くなっていく

### 買物で外出する時間帯



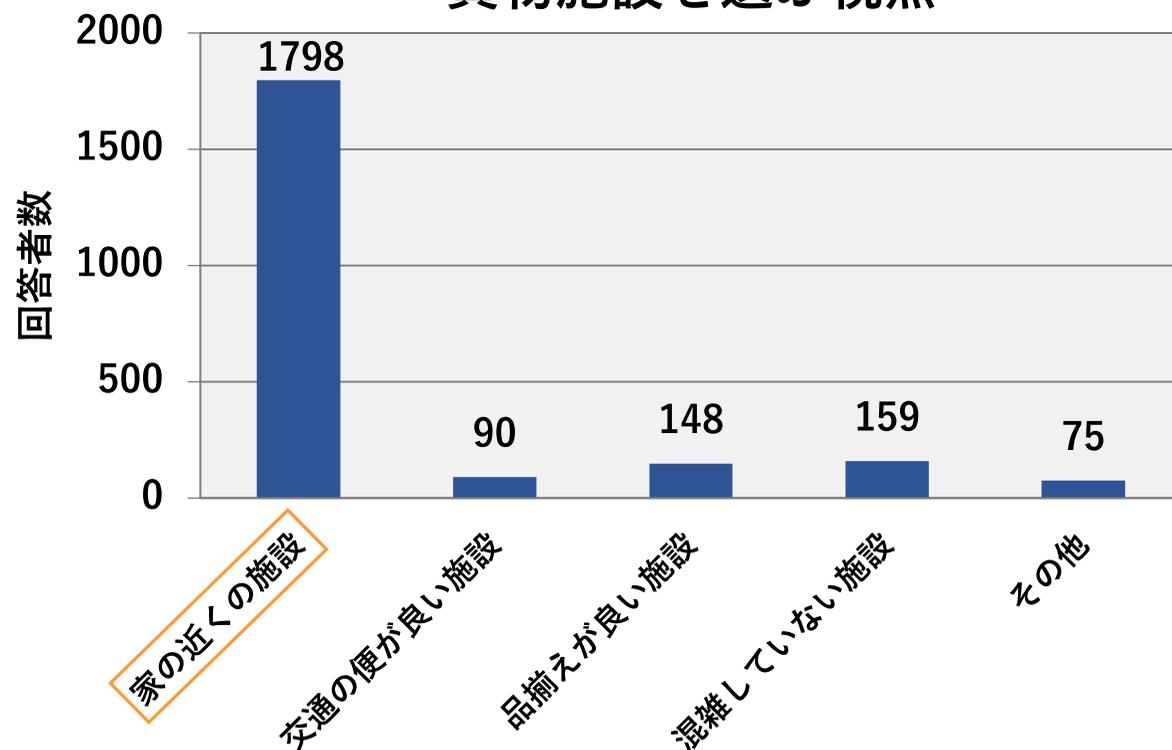
### 外出する時間（年齢別）



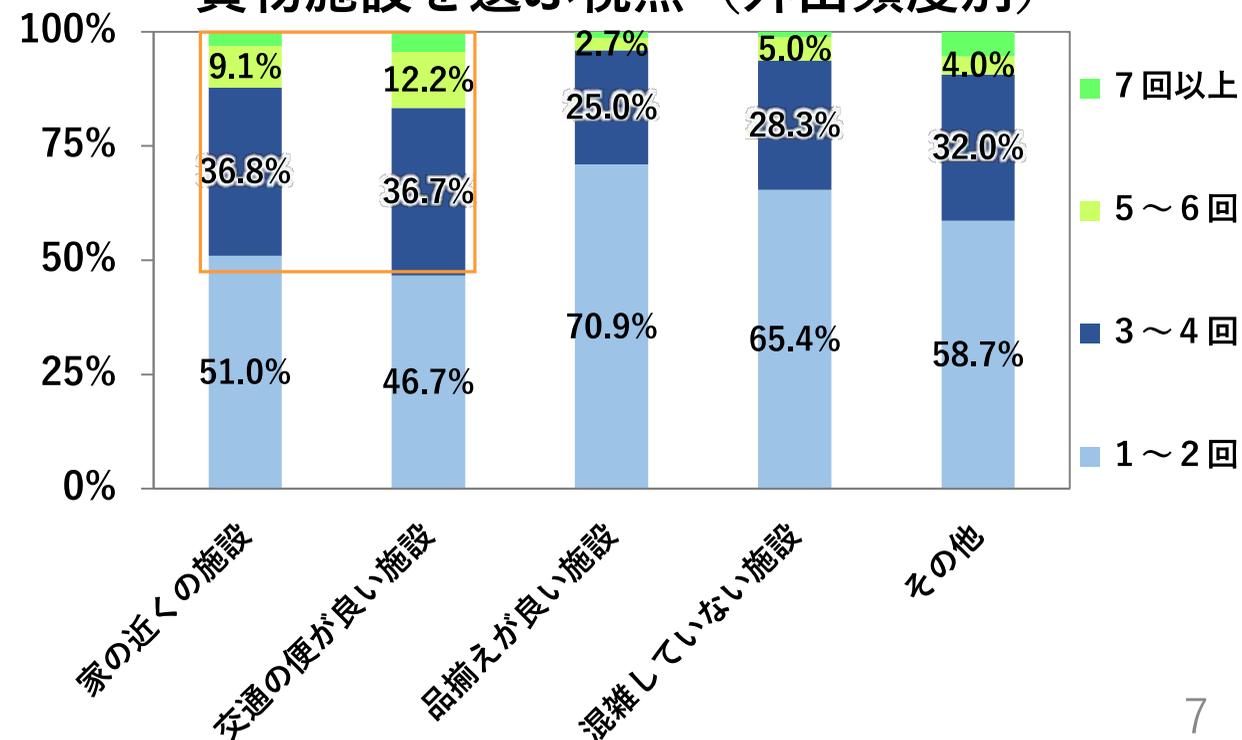
# 買物の外出状況

- 回答者の80%が「家の近く」の買物施設を選んでいる
- 「家の近く」または「交通の便が良い」買物施設を選んでいる人は、週に3回以上買物する割合が高くなっている

買物施設を選ぶ視点

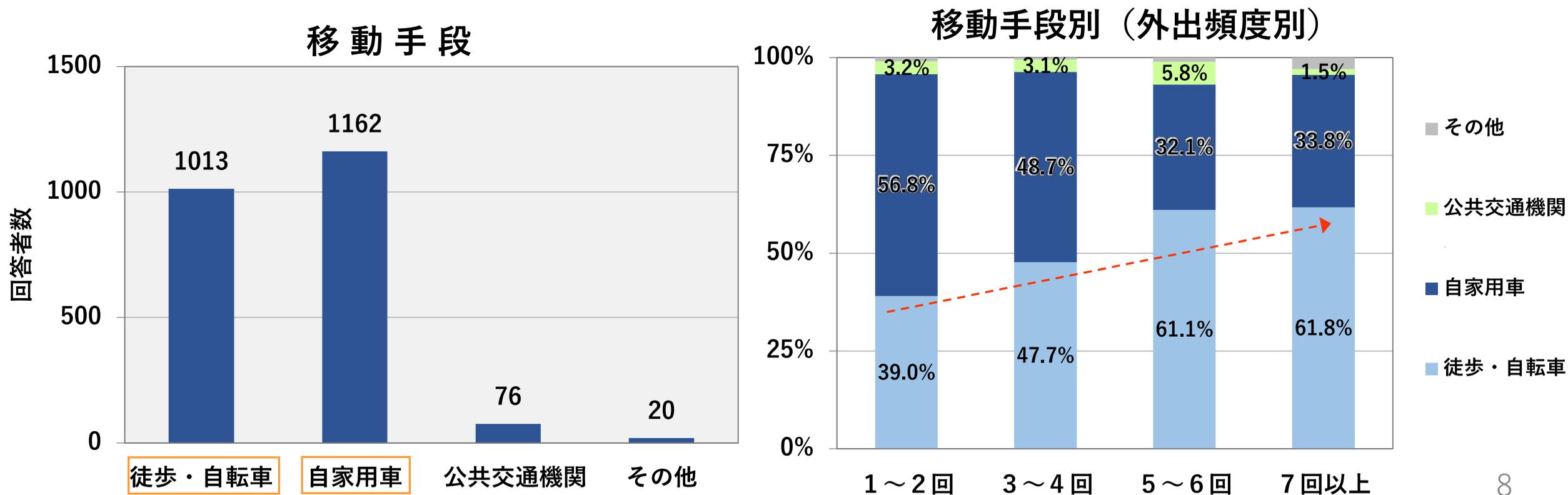


買物施設を選ぶ視点（外出頻度別）



# 買物の外出状況

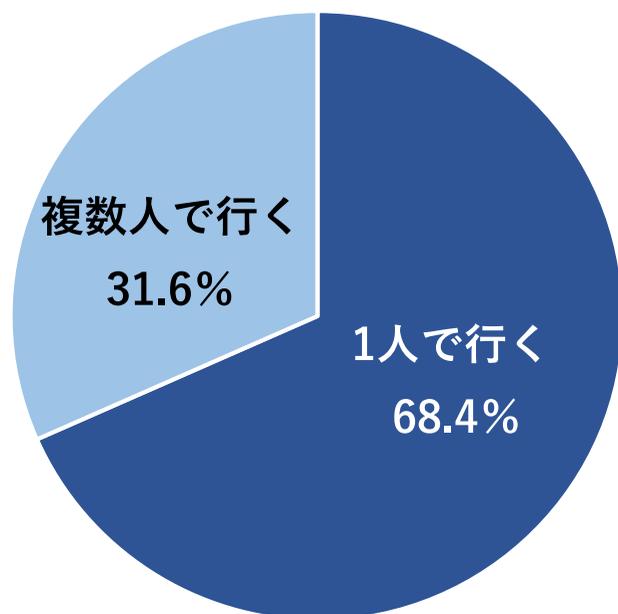
- 「徒歩・自転車」「自家用車」で買物に行く割合が96%を占める
- 1週間の買物頻度が多くなるほど「徒歩・自転車」割合が高く、「自家用車」の割合が低い



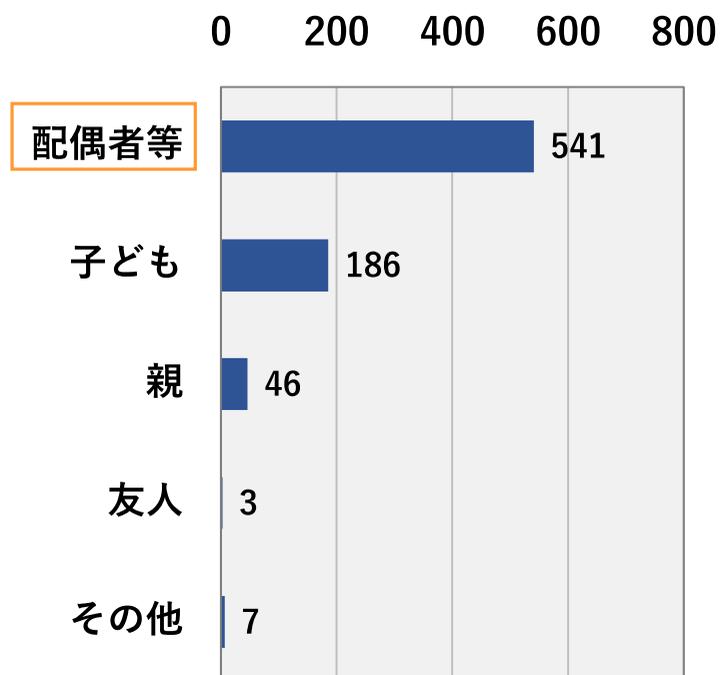
# 買物の外出状況

- 買物に1人で行く人が68%、複数人で行く人が32%となっている
- 複数人で買物に行く人は、配偶者（パートナー）と一緒にいく回答が多く、複数人で行く理由は「荷物が持ちきれない」が多い

買物に行くときの人数



買物と一緒にいく人（複数回答）

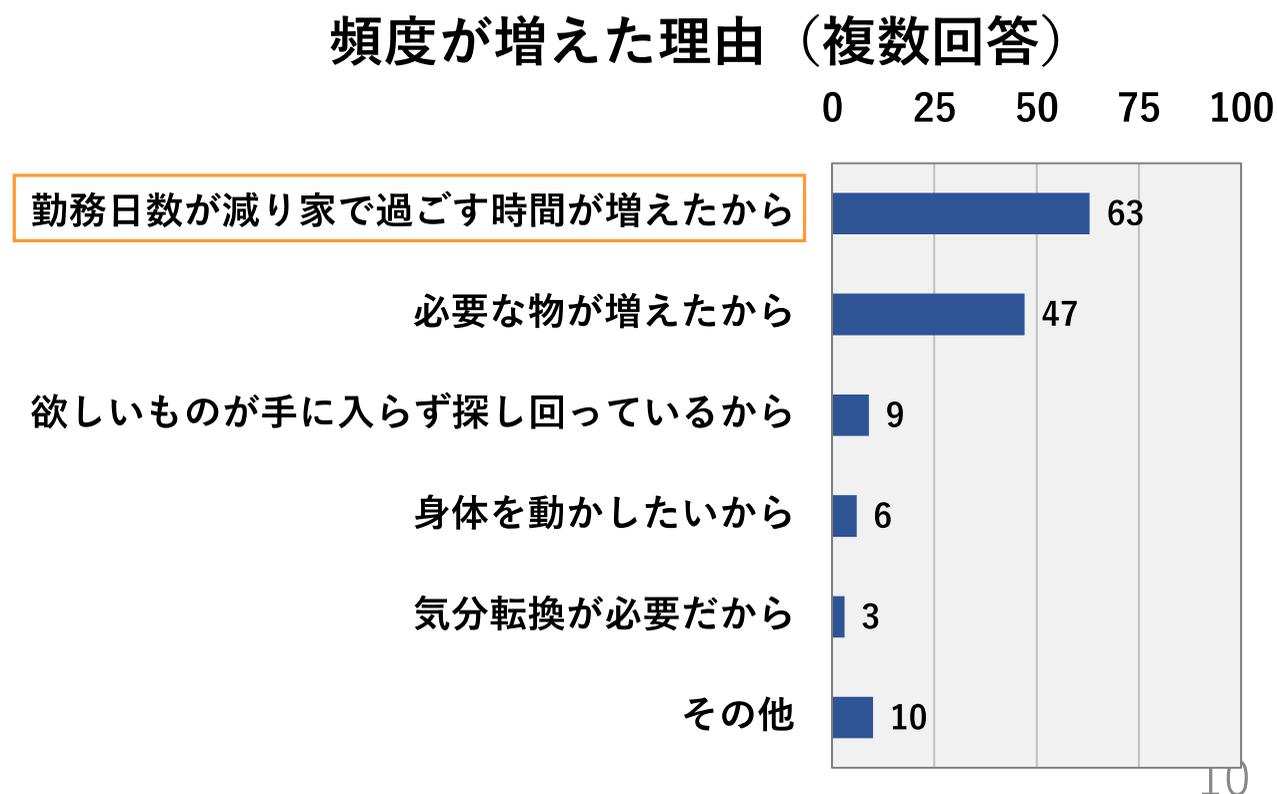
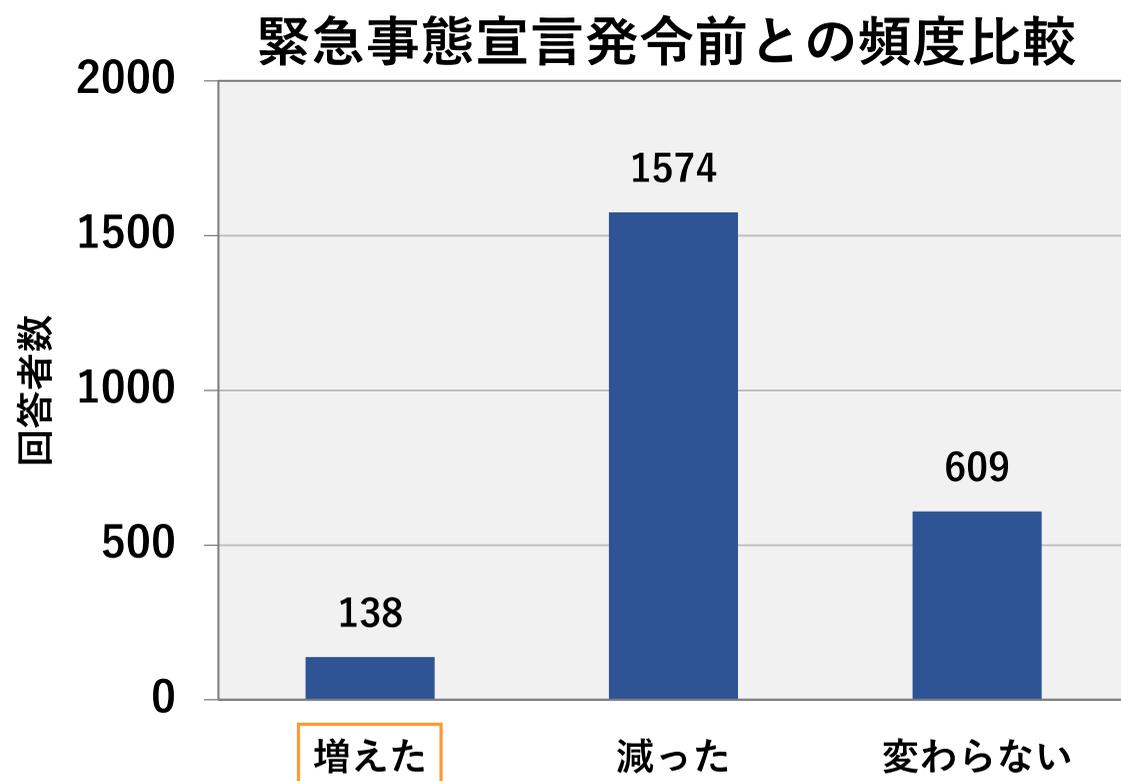


複数人で行く理由（複数回答）



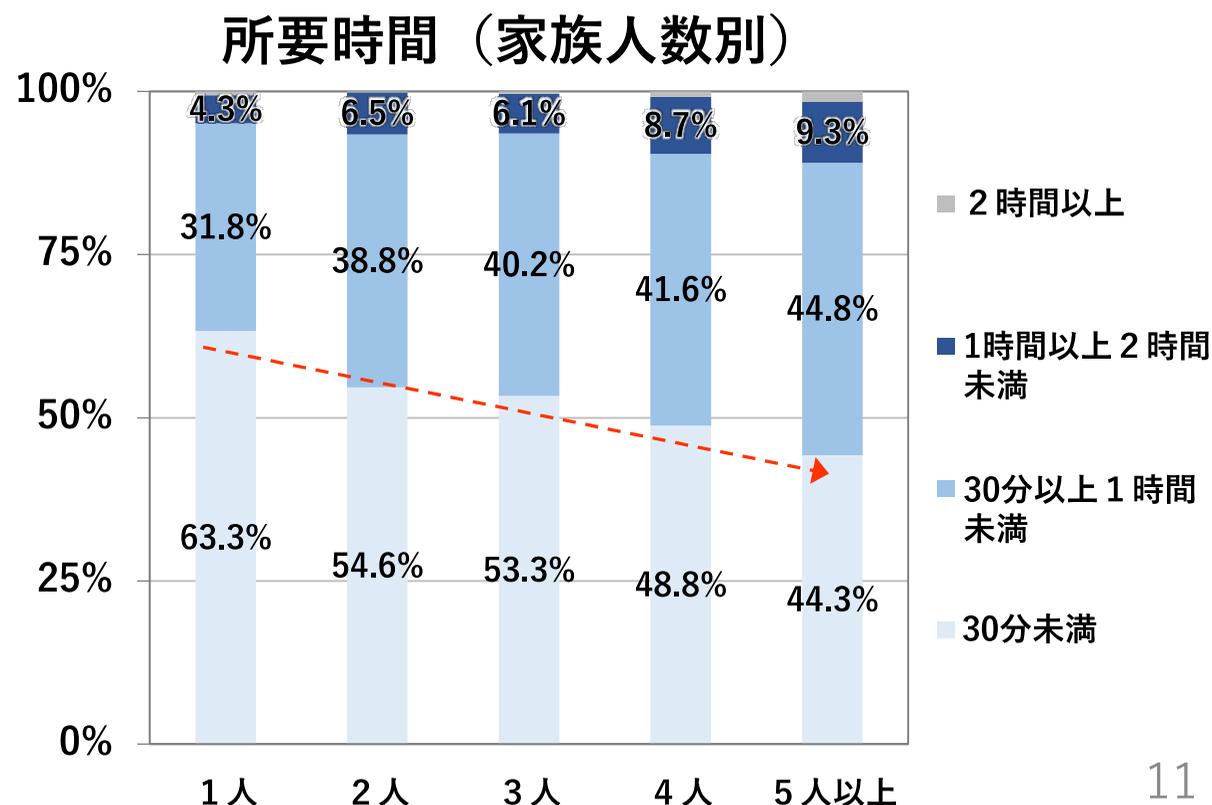
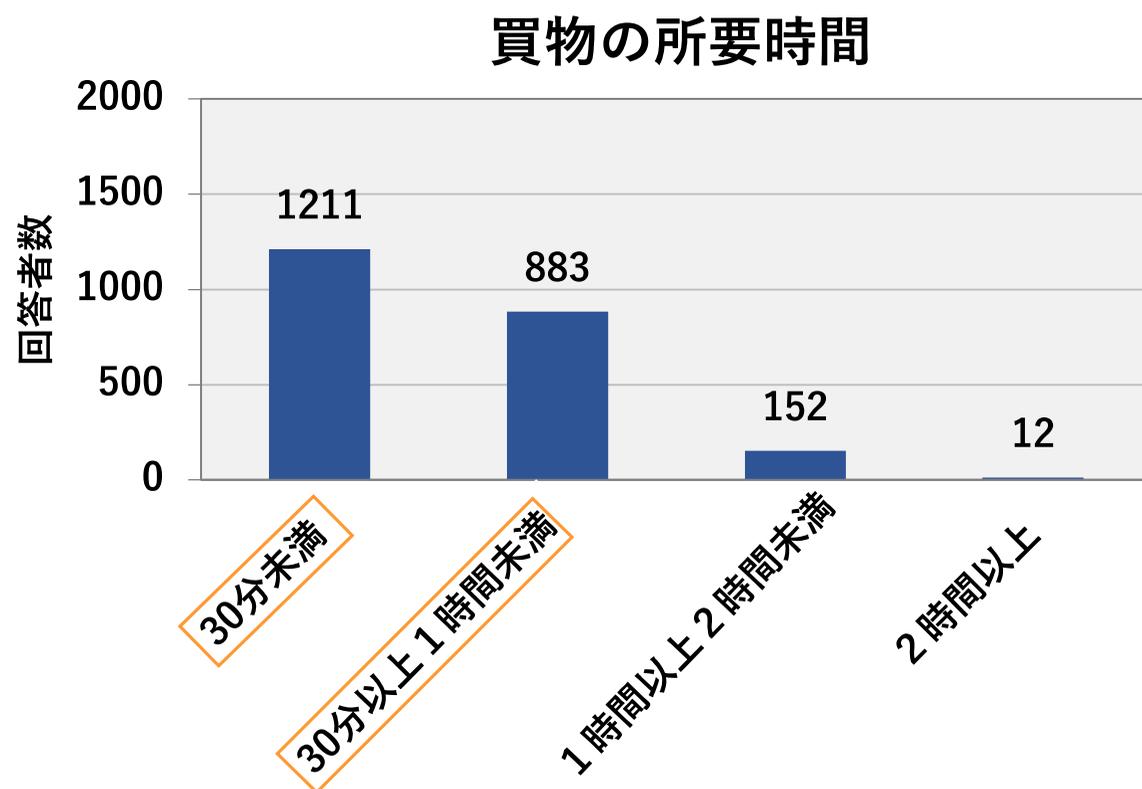
# 買物の外出状況

- 緊急事態宣言発令前と比較して買物頻度が「減った」と回答した人が68%で、「増えた」と回答した人は6%となっている
- 買物頻度が「増えた」理由は「家で過ごす時間が増えたから」が最も多い



# 買物の外出状況

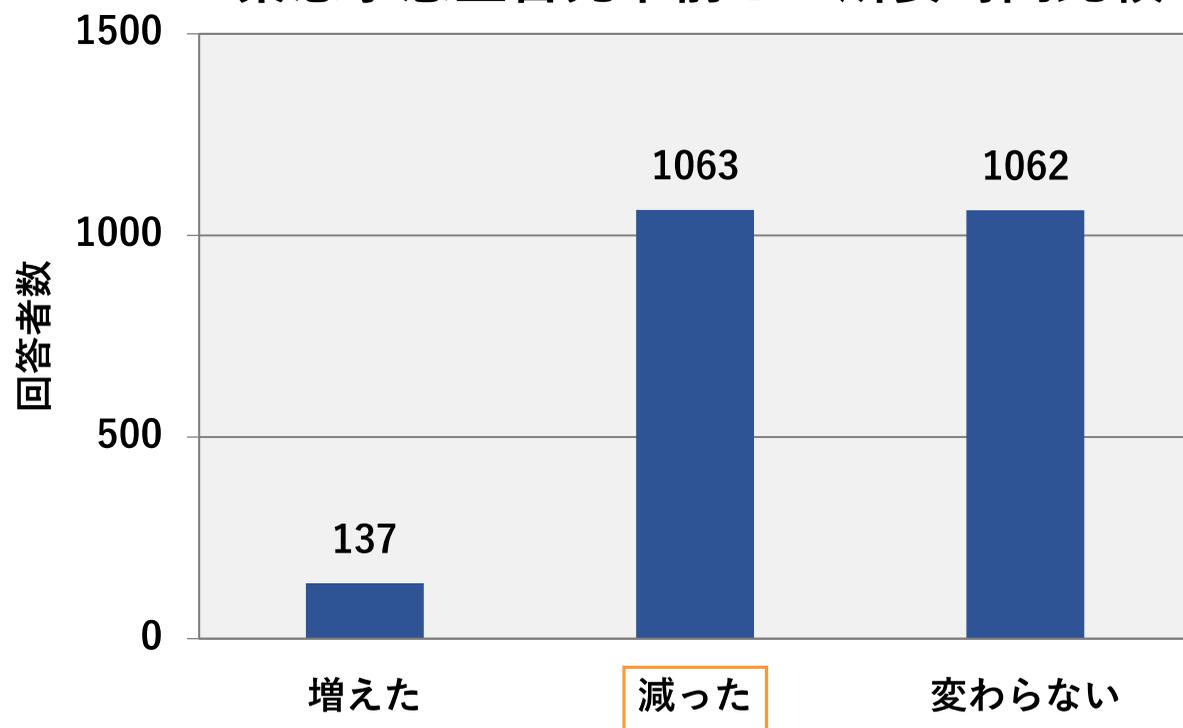
- 買物にかかる所要時間が1時間未満の回答が97%を占める
- 家族の人数が多いほど30分以上かかると回答する割合が高い



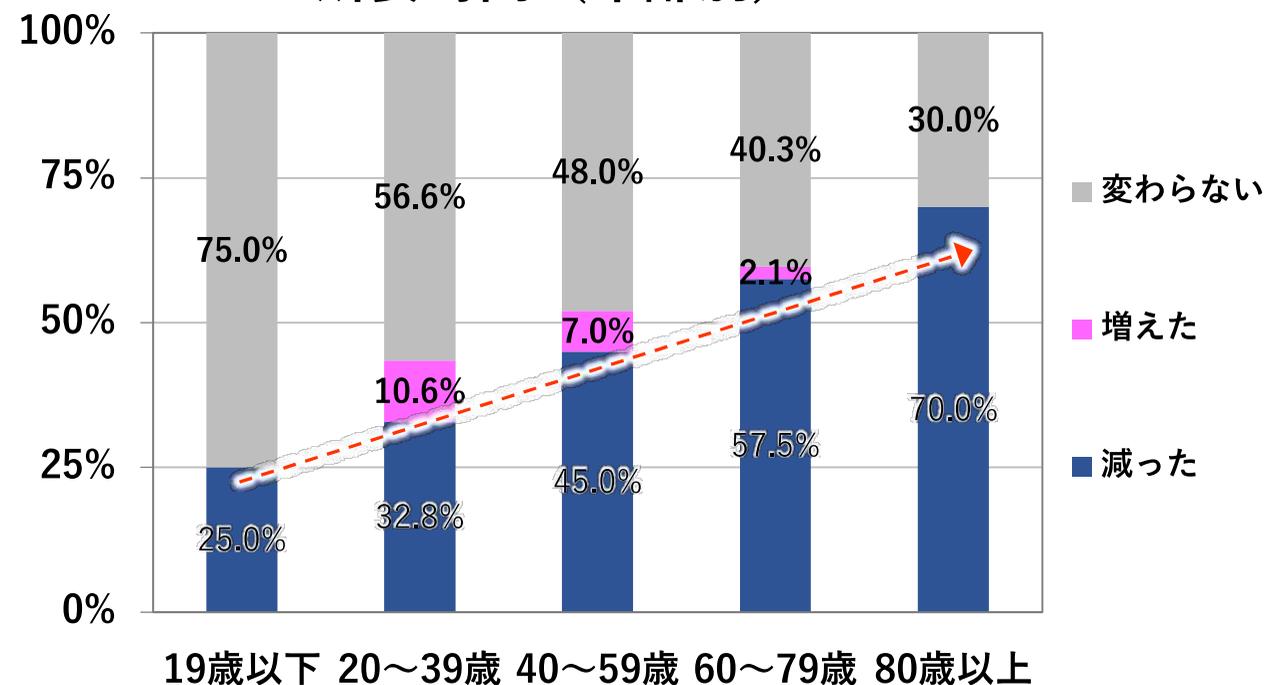
# 買物の外出状況

- 緊急事態宣言発令前と比較して買物にかかる所要時間が「減った」と回答した人が47%、「増えた」と回答した人が6%となっている
- 年齢が上がるにつれて「減った」と回答する割合が高くなり、「増えた」と回答する割合が低くなっている

### 緊急事態宣言発令前との所要時間比較



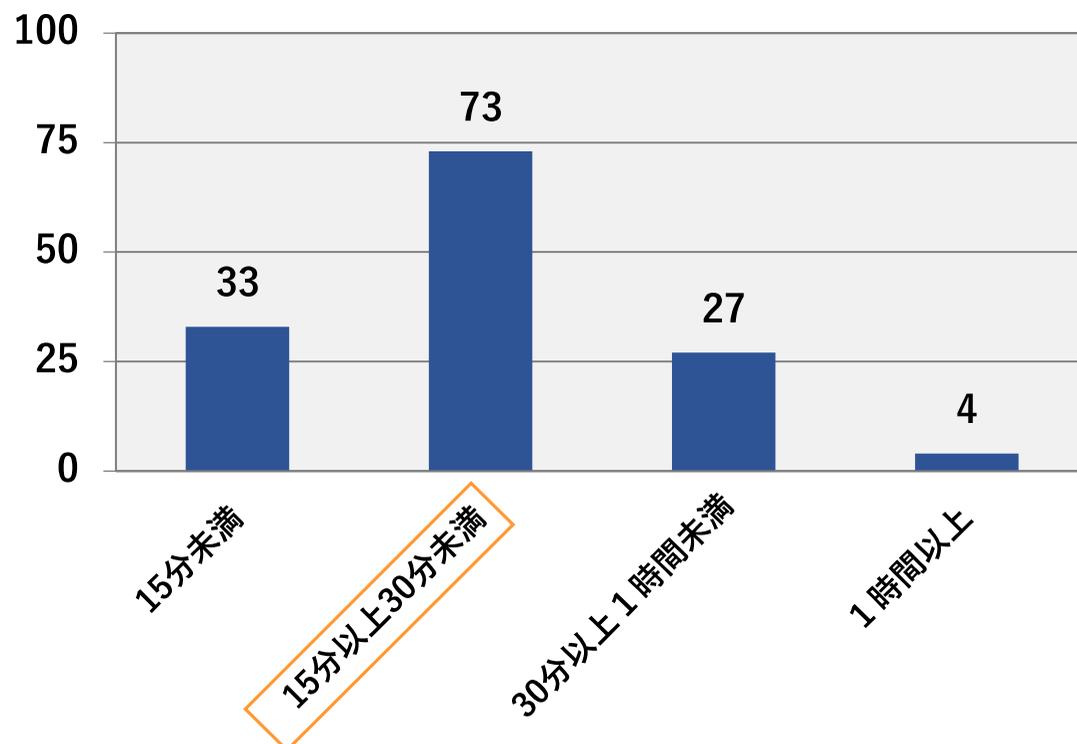
### 所要時間（年齢別）



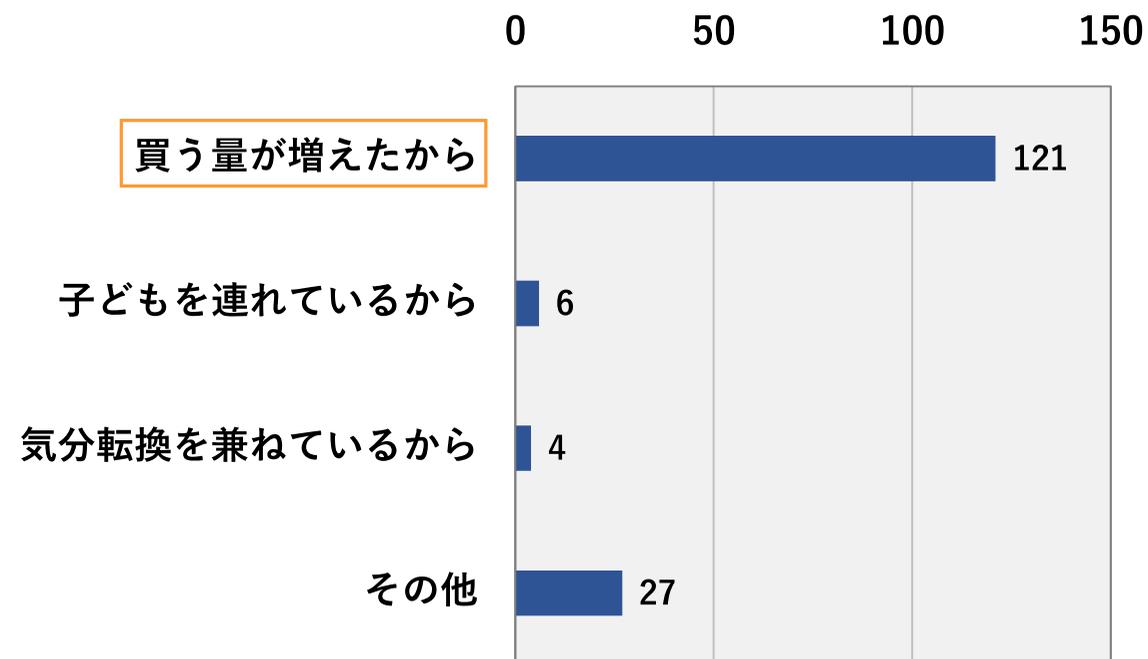
# 買物の外出状況

- 増えた所要時間は「15分以上30分未満」が53%を占める
- 所要時間が増えた理由は「買う量が増えたから」の回答が多い

### 増えた所要時間



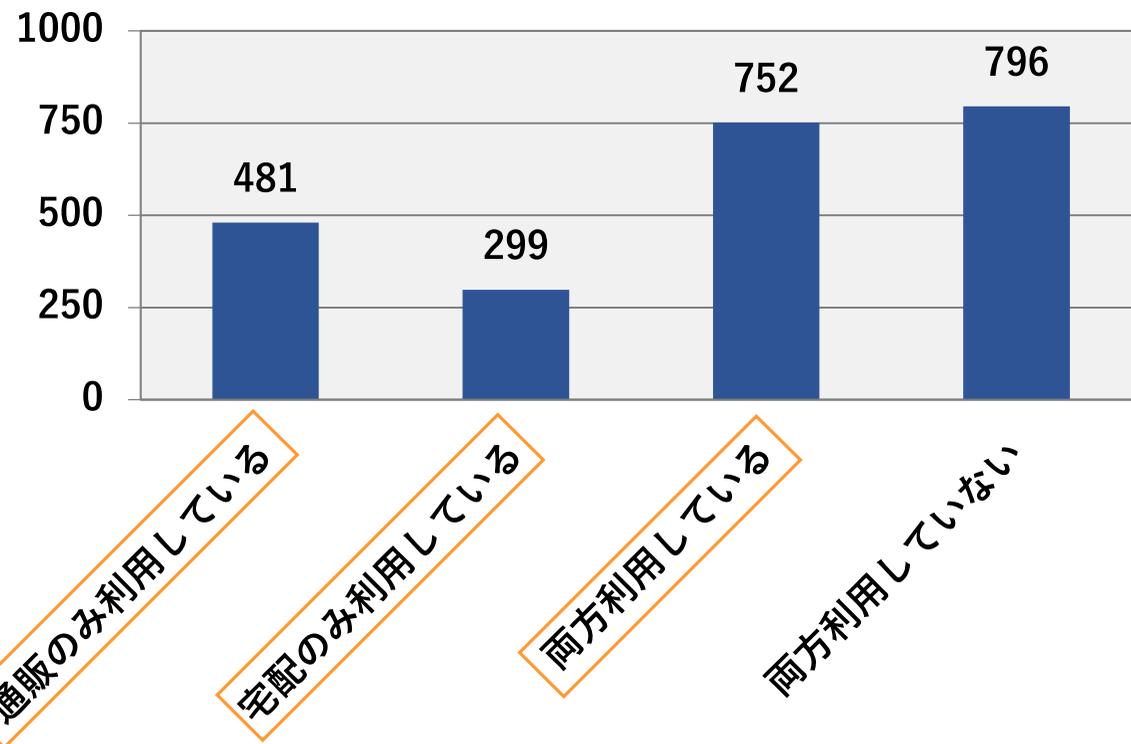
### 所要時間が増えた理由（複数回答）



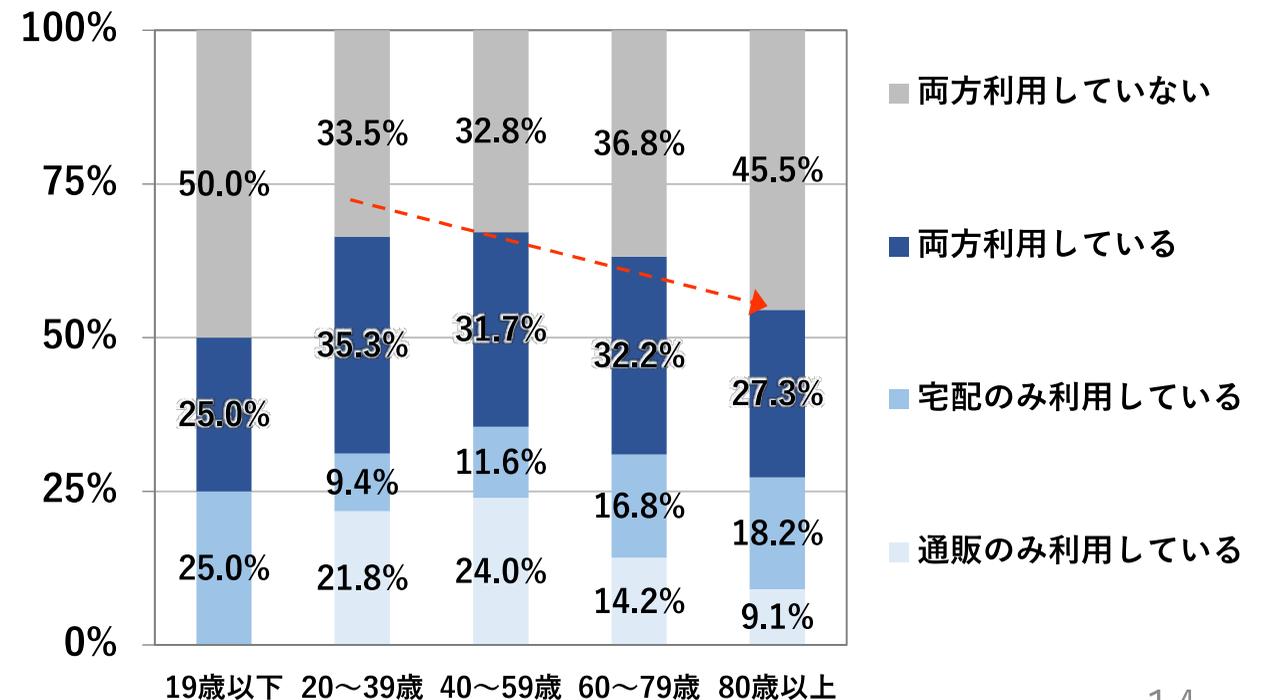
# 買物の外出状況

- 「インターネット通販」「宅配」の少なくともどちらかは利用している割合は66%となっている
- 20歳以上の利用状況を見ると、年齢が上がるにつれて「両方利用していない」の割合が高くなっている

ネット通販・宅配の利用状況

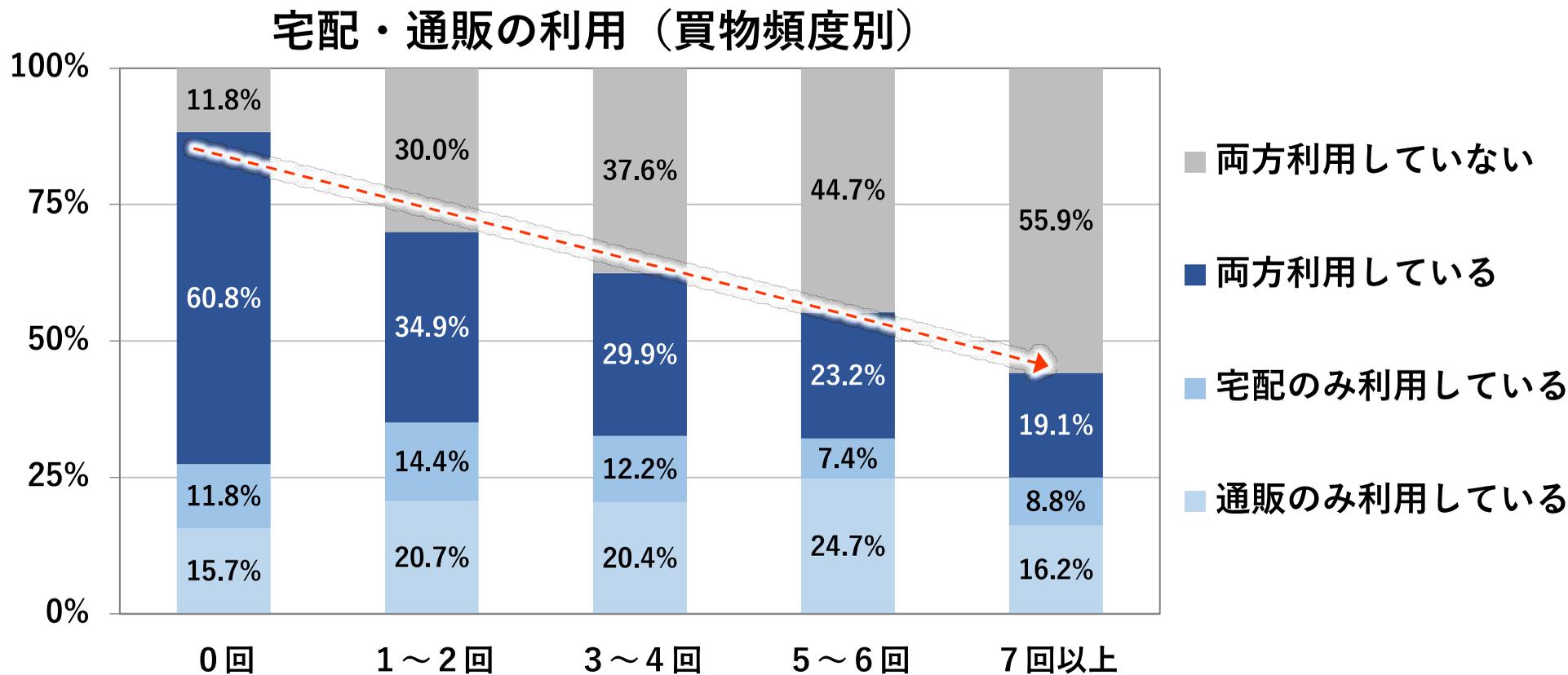


通販・宅配の利用状況（年齢別）



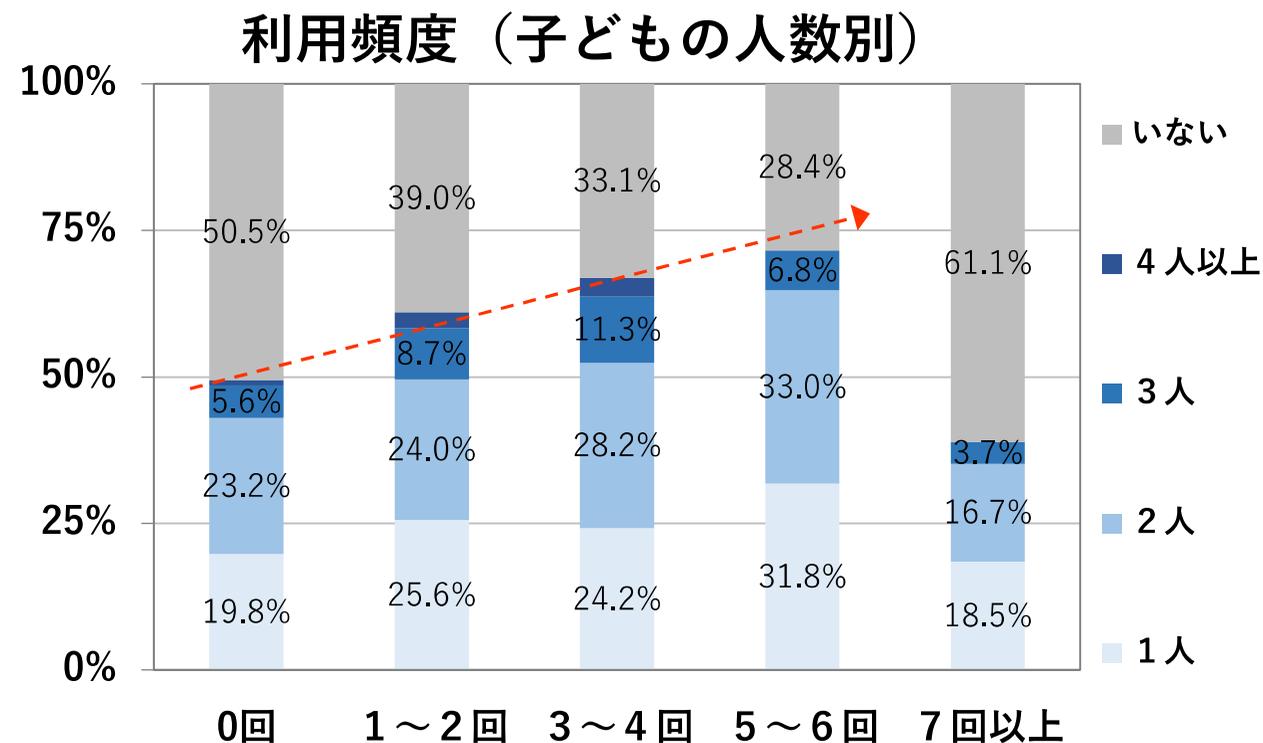
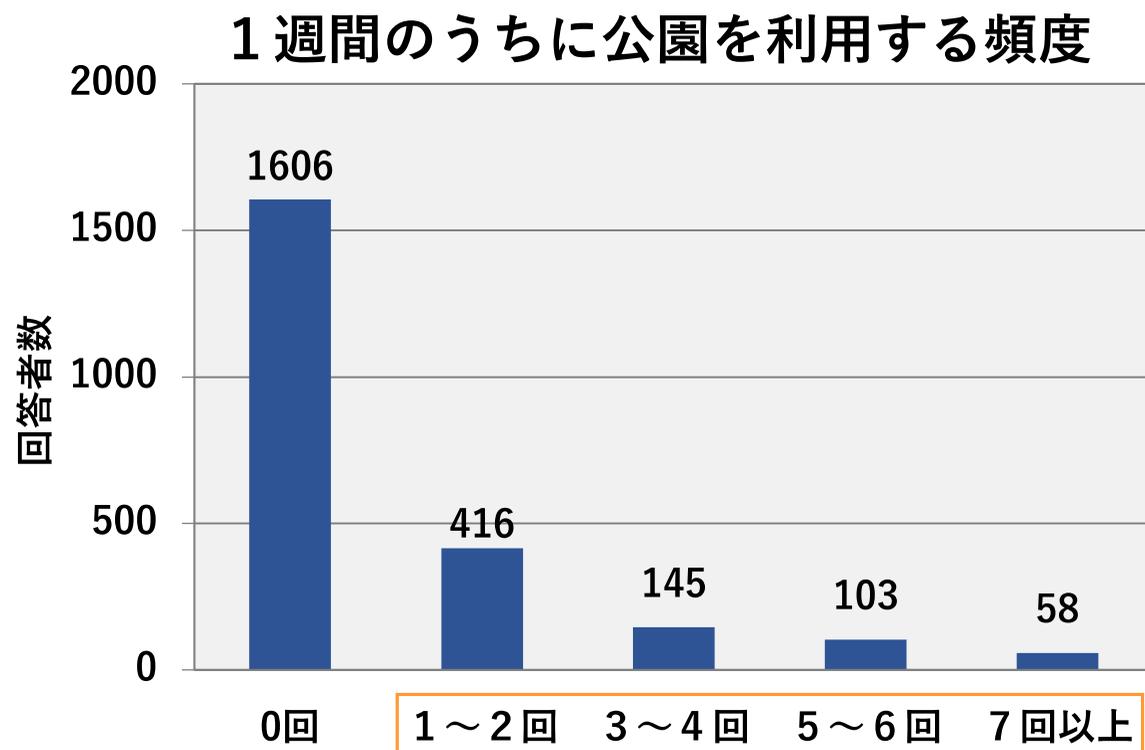
# 買物の外出状況

- 1週間のうち買物で外出する頻度が多くなるほど、インターネット通販、宅配を利用していないと回答する割合が高い



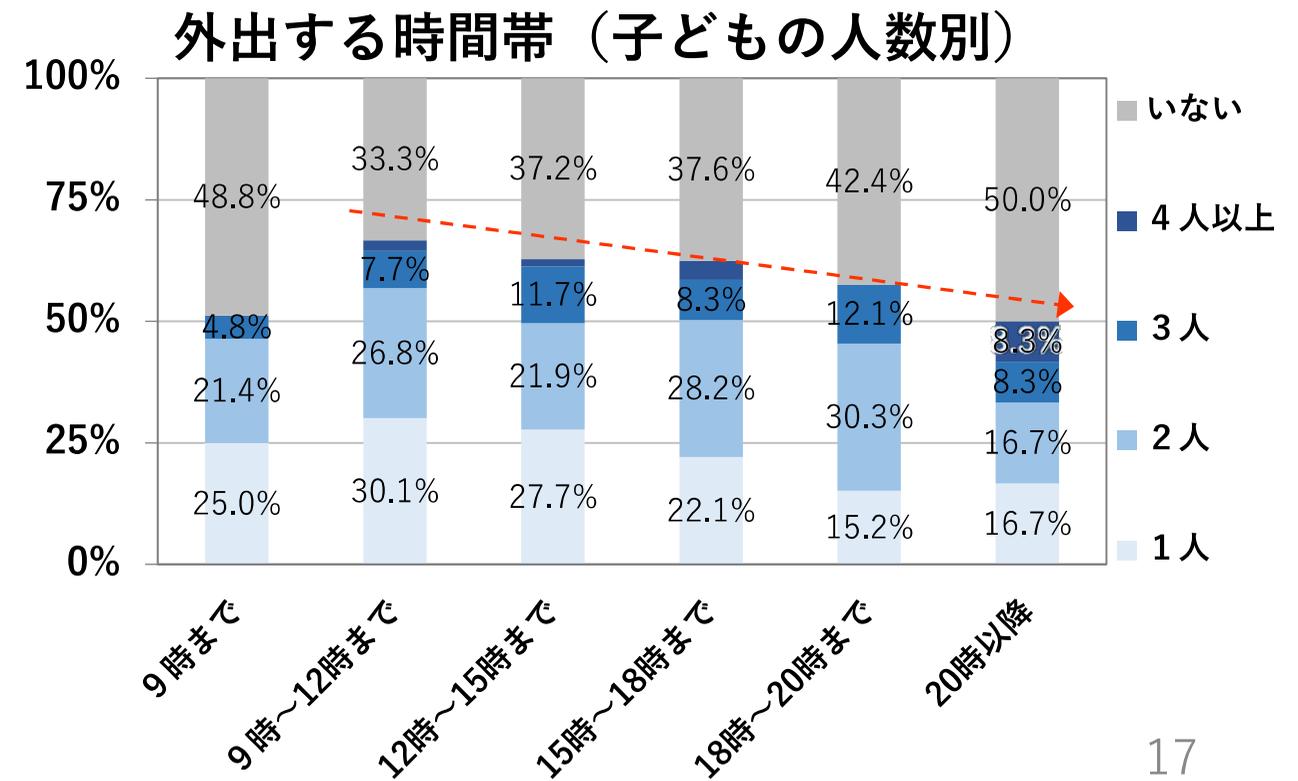
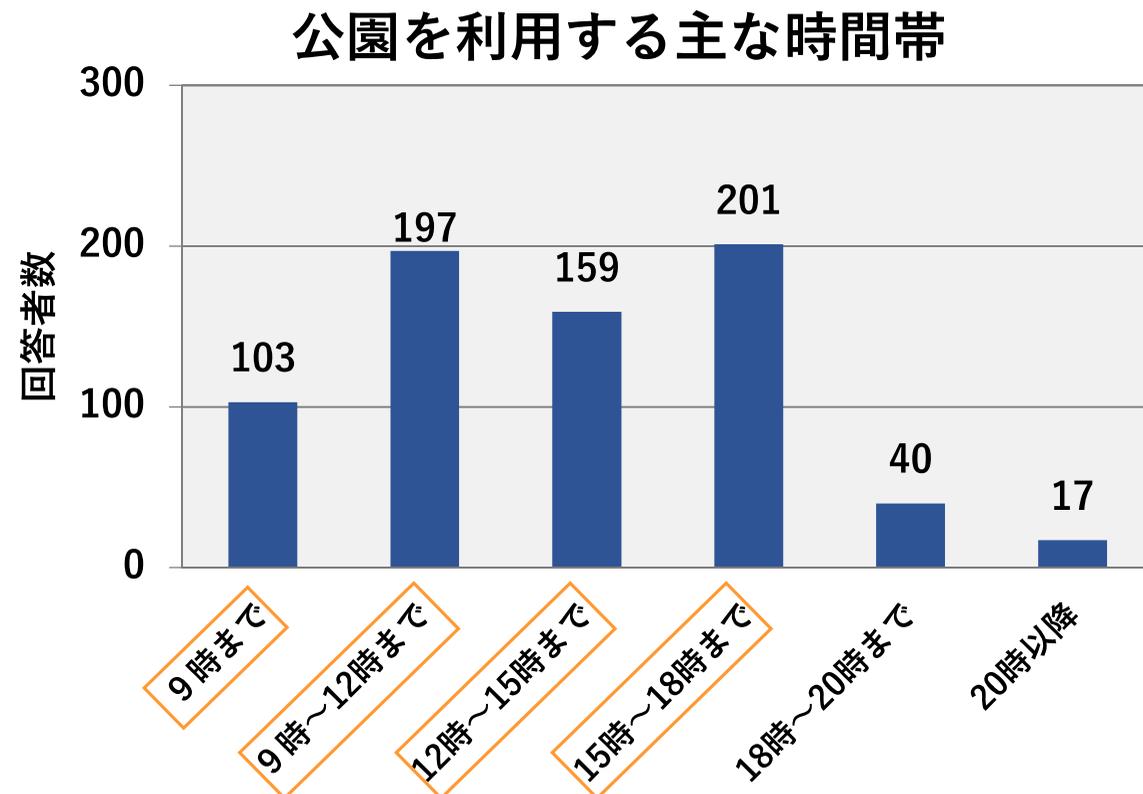
# 公園の利用状況

- 全体の約30%が公園を利用しており、そのうち「1～2回」の利用が約60%を占める
- 家族に子どもがいると回答した人のほうが公園利用の頻度が高い



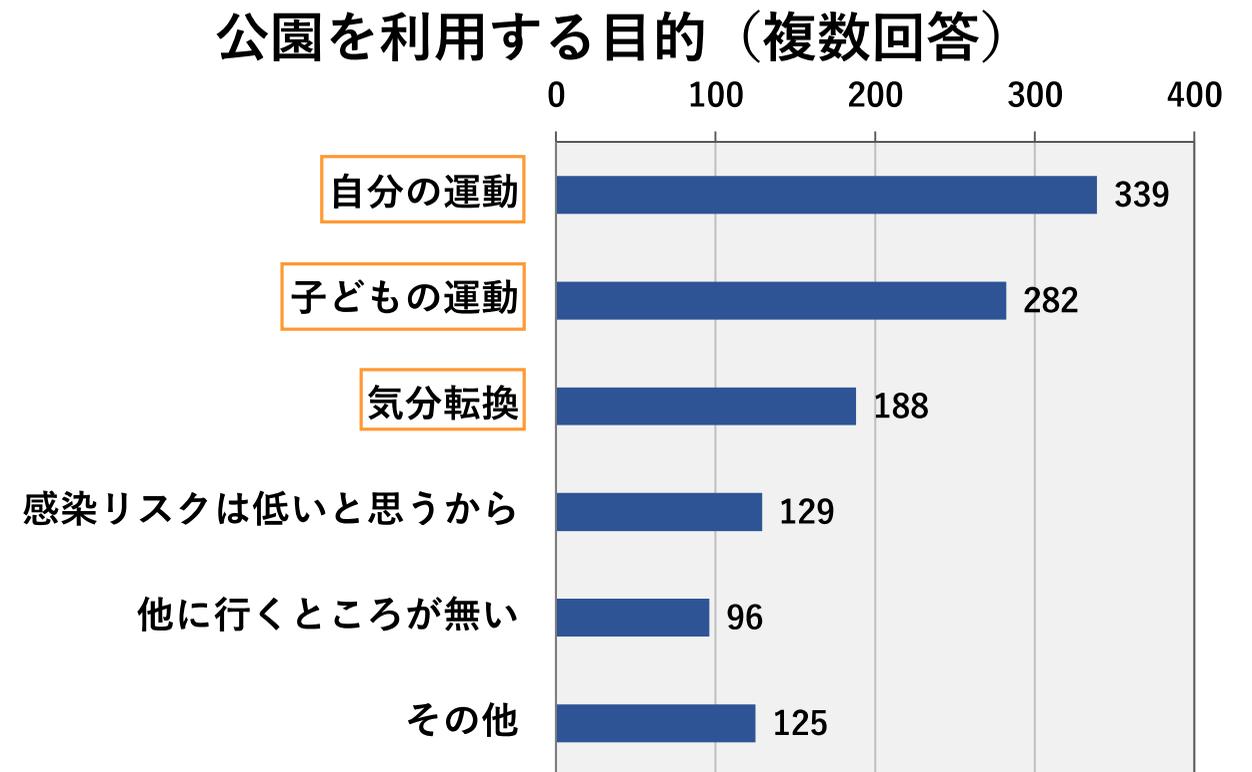
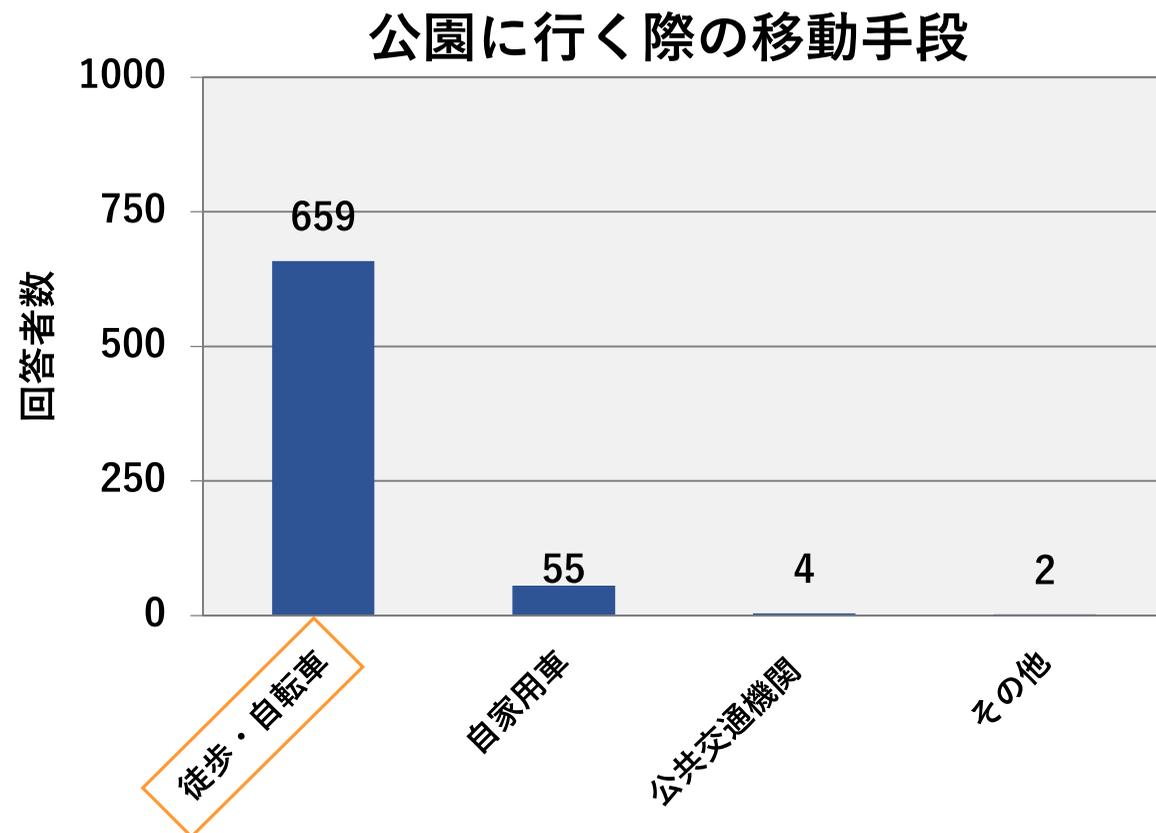
# 公園の利用状況

- 公園を利用する時間帯は朝～18時までの間で分散している
- 時間帯が遅くなるにつれて、子どものいない家庭の公園利用の割合が高くなっている



# 公園の利用状況

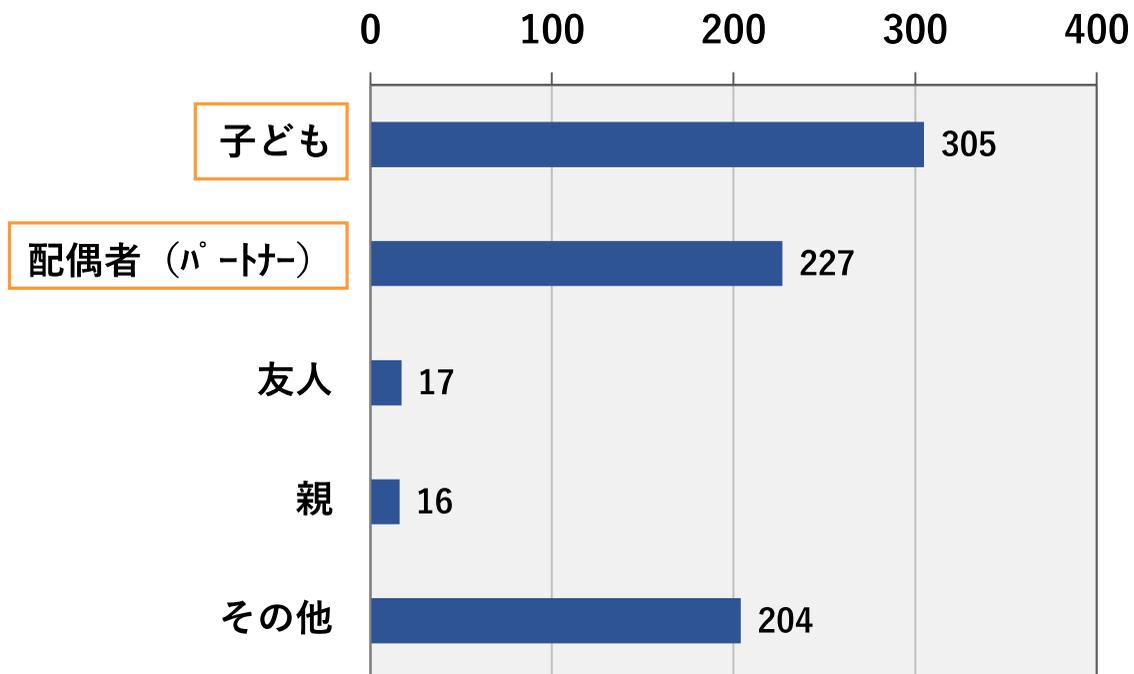
- 「徒歩・自転車」で公園に行く割合が90%を占める
- 自分・子どもの「運動」を目的としての公園利用が多く、それに次いで「気分転換」が多い



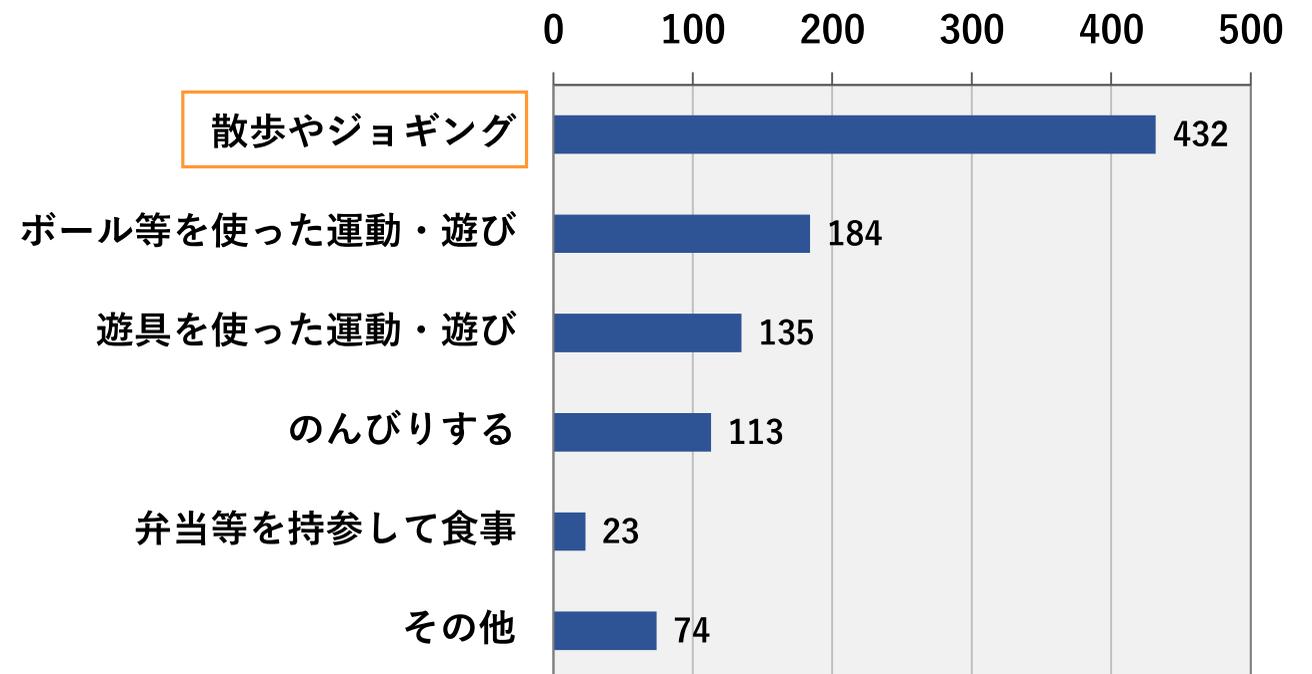
# 公園の利用状況

- 配偶者、子どもと一緒に公園を利用するという回答が多い
- 公園では「散歩やジョギング」をして過ごすという回答が多い

公園へ一緒に行く人（複数回答）



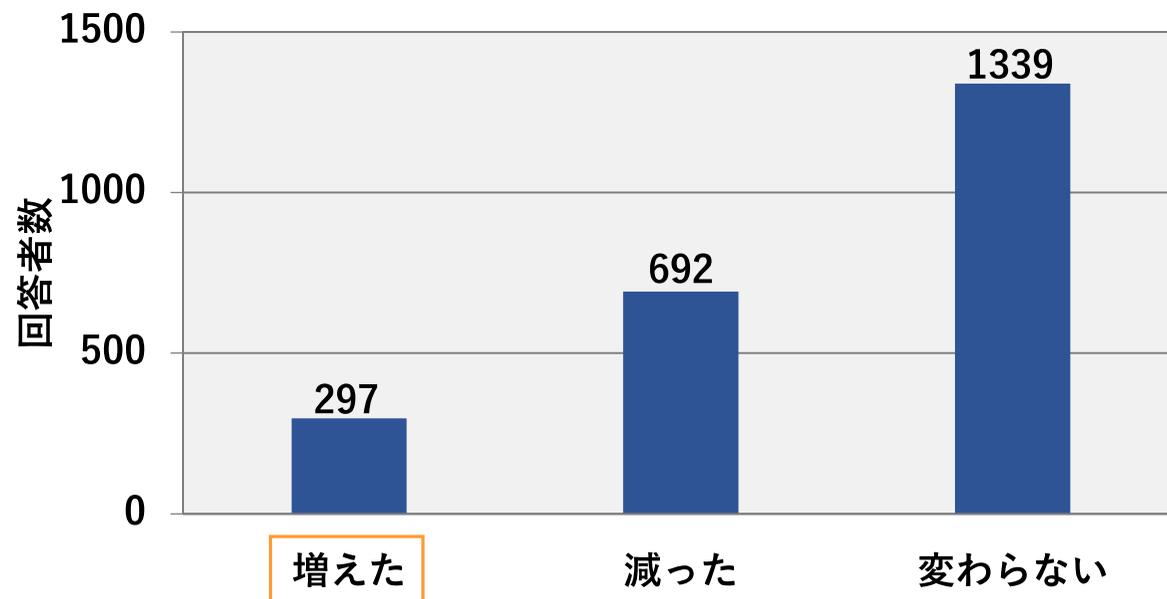
公園での過ごし方（複数回答）



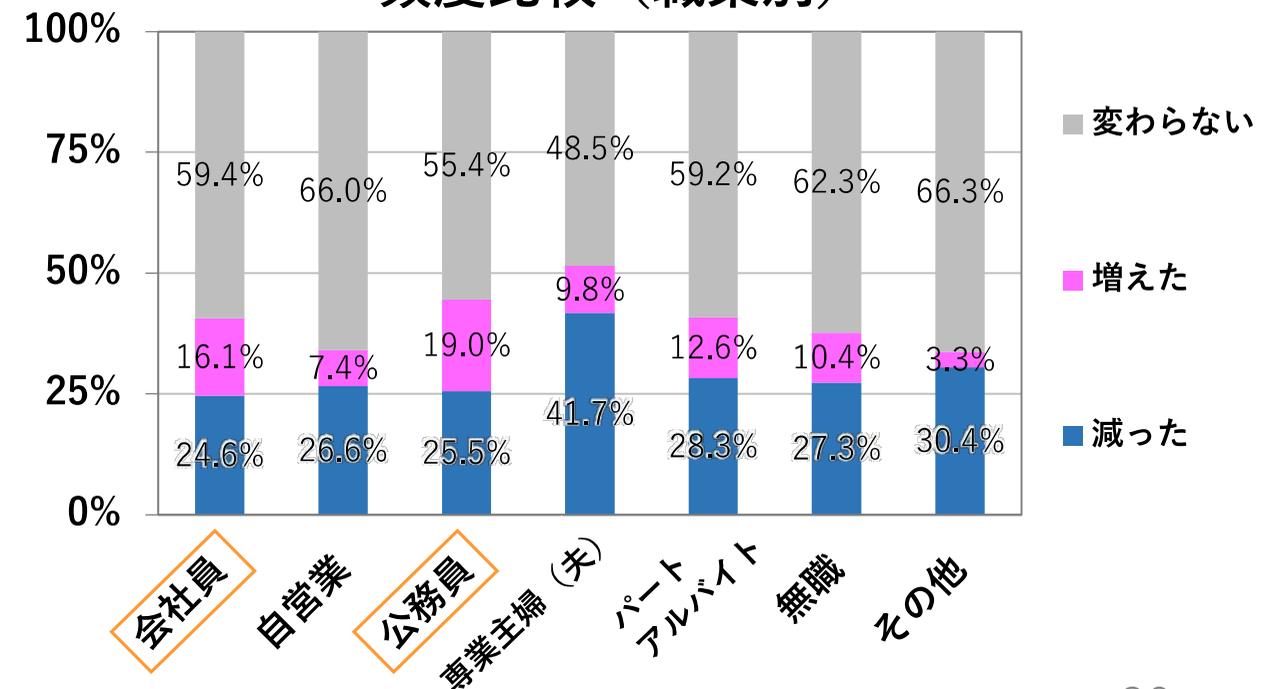
# 公園の利用状況

- 緊急事態宣言が発令される前と比べて公園の利用頻度が「増えた」と回答したのは13%、「減った」と回答したのは30%となっている
- 「会社員」「公務員」の利用頻度が増えたと回答する割合が高い

緊急事態宣言発令前との頻度比較

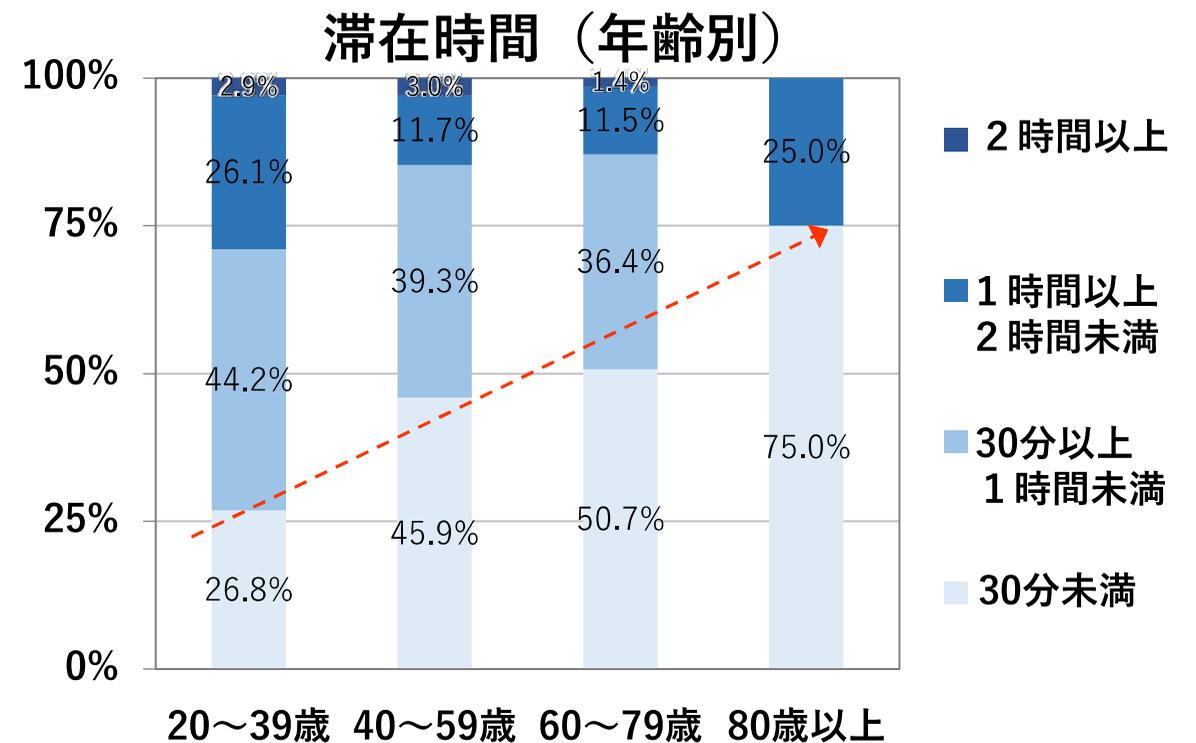
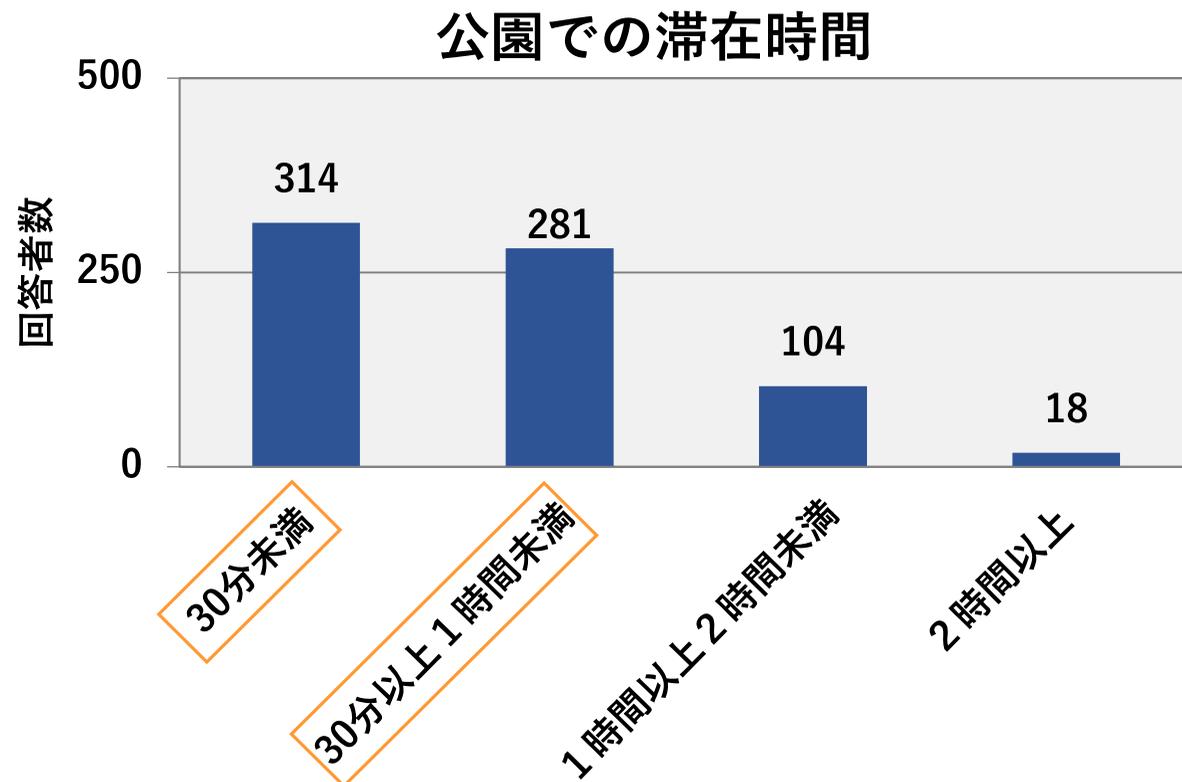


頻度比較（職業別）



# 公園の利用状況

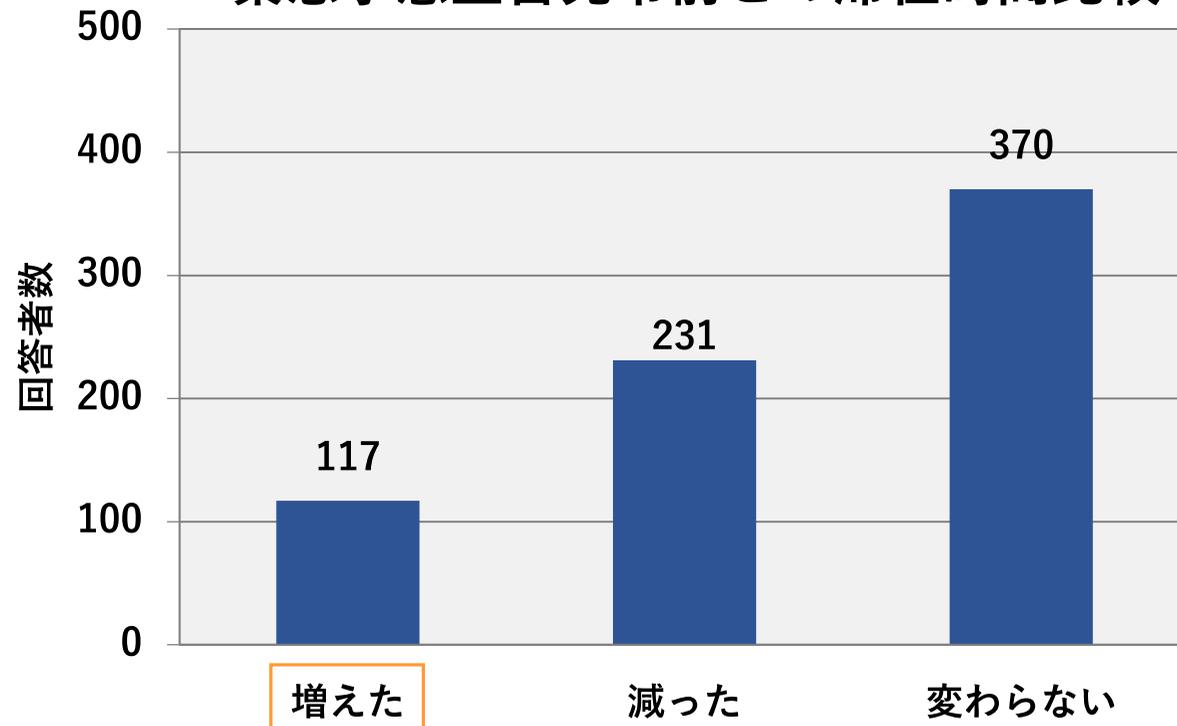
- 公園での滞在時間は「1時間未満」の割合が83%を占める
- 30分以上滞在すると回答した割合が若い世代ほど高くなっている



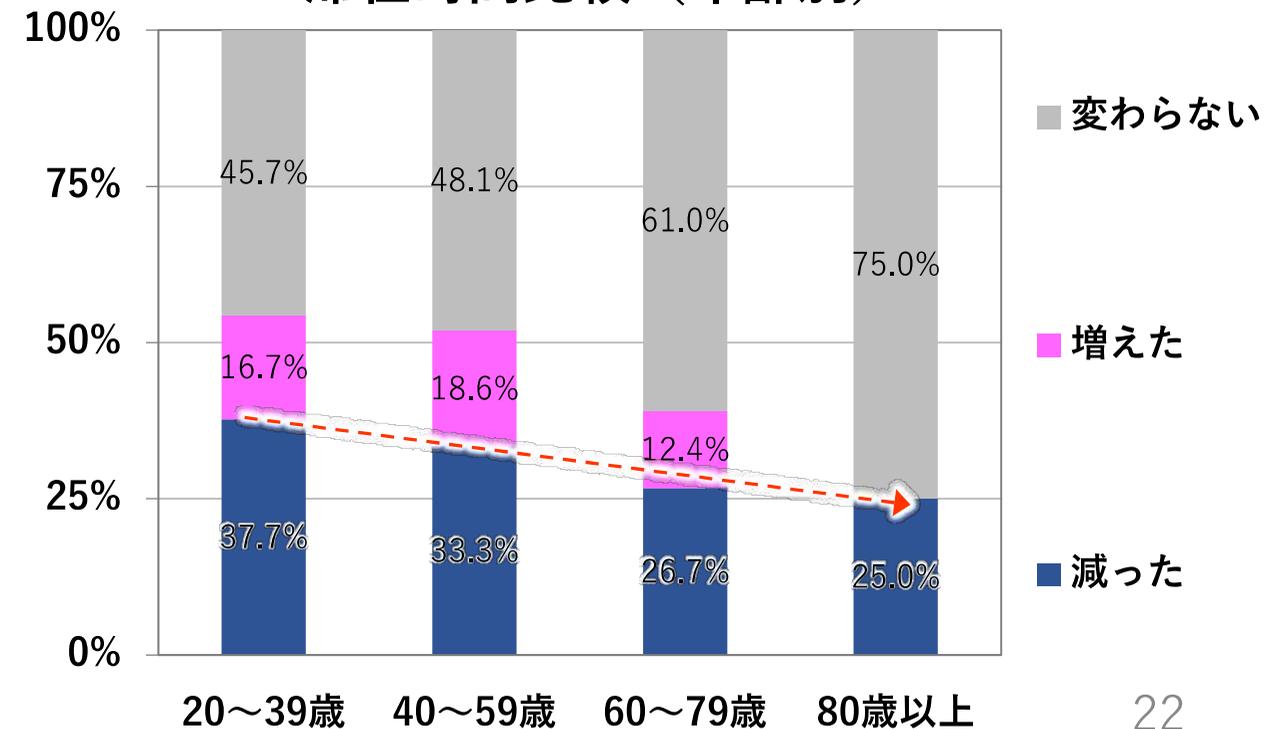
# 公園の利用状況

- 16%が緊急事態宣言発令前と比較して滞在時間が「増えた」と回答
- 若い世代のほうが公園の滞在時間が「減った」と回答する割合が高い傾向となっている

### 緊急事態宣言発令前との滞在時間比較



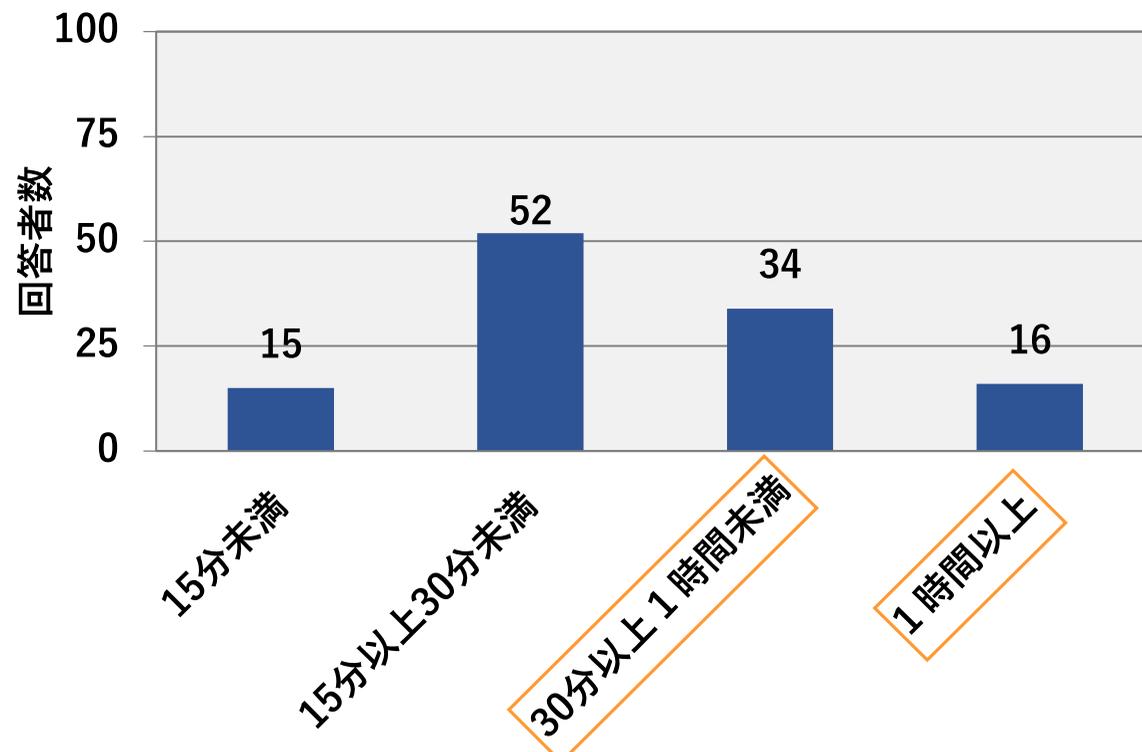
### 滞在時間比較（年齢別）



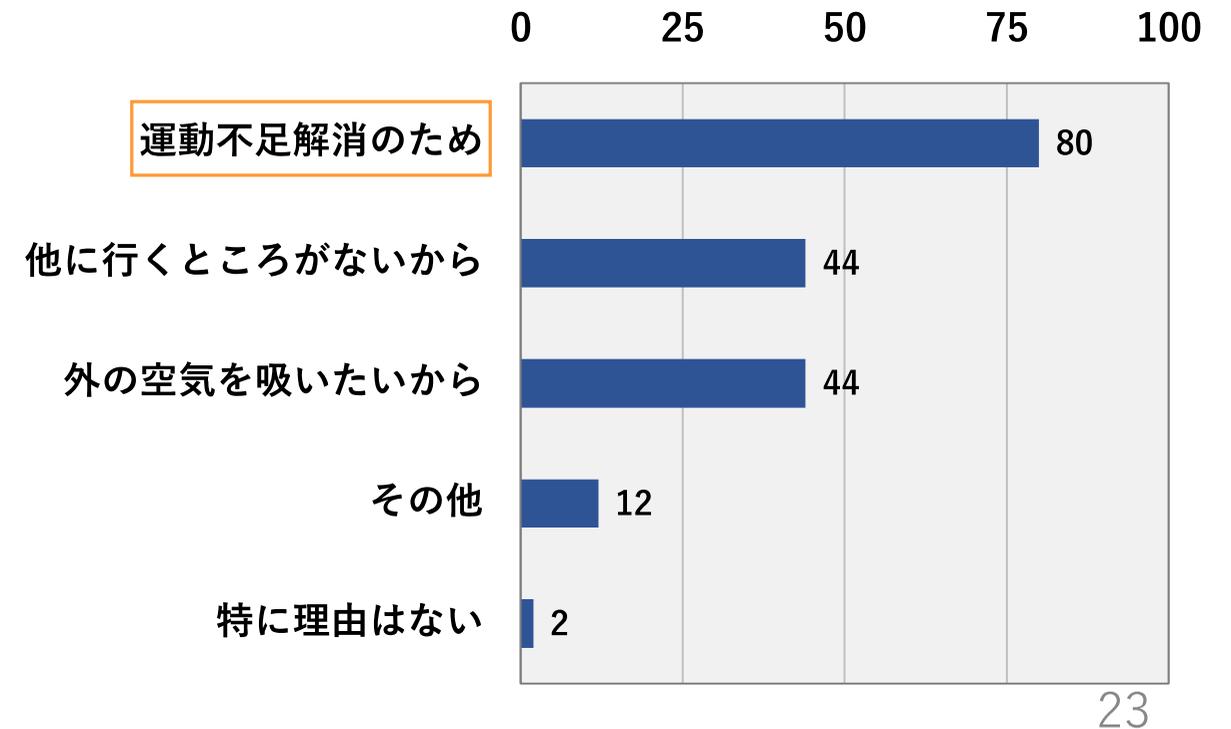
# 公園の利用状況

- 公園の滞在時間が「増えた」と回答した人のうち、42%が30分以上滞在時間が増えている
- 「運動不足解消のために」滞在時間が増えたとの回答が多い

増えた滞在時間



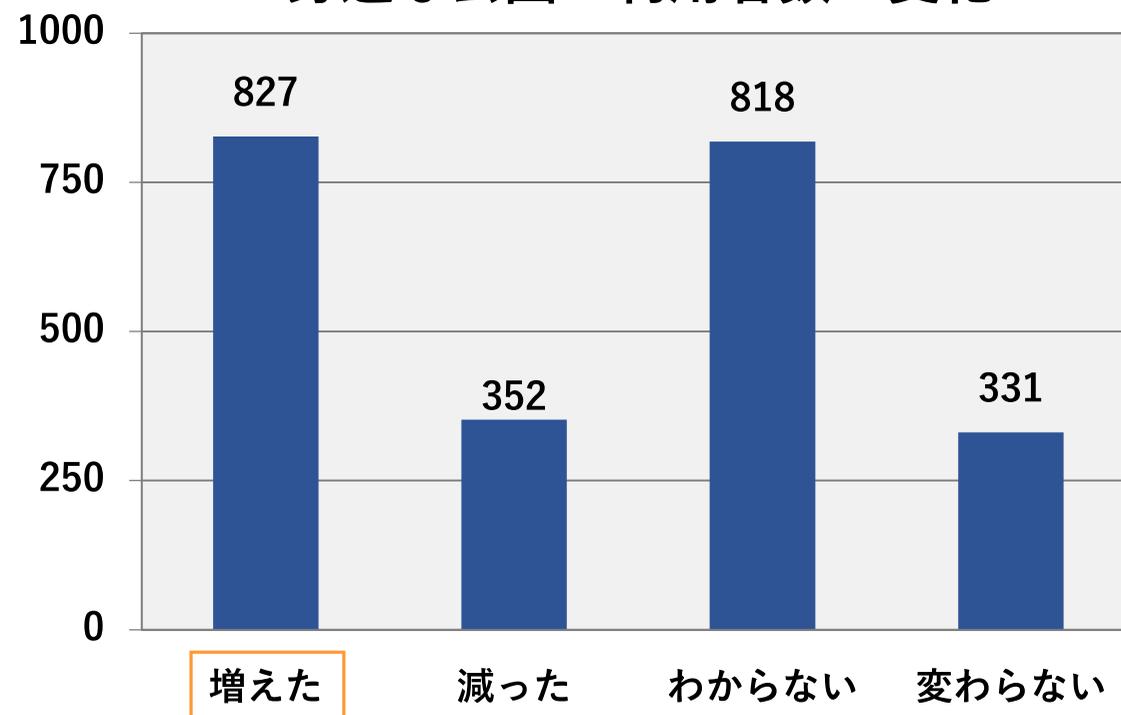
滞在時間が増えた理由



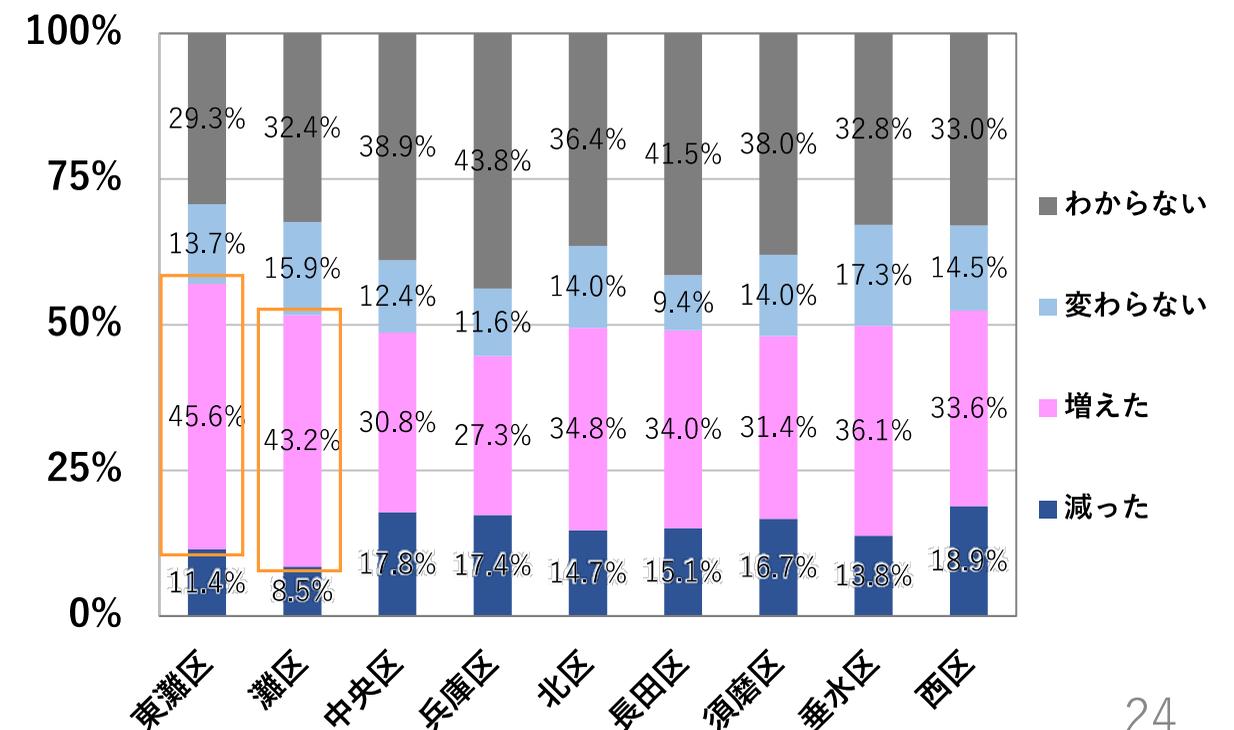
# 公園の利用状況

- 身近な公園の利用者数について35%が「増えた」と回答している
- 東灘区、灘区に住んでいる人が「増えた」と回答する割合が高い

身近な公園の利用者数の変化



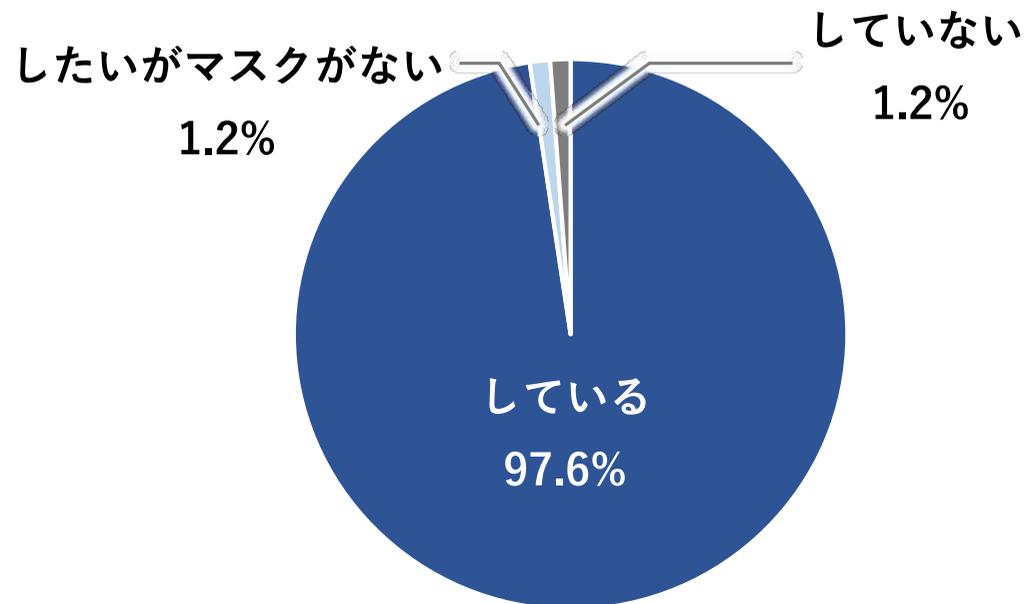
身近な公園の利用者数の変化（居住地別）



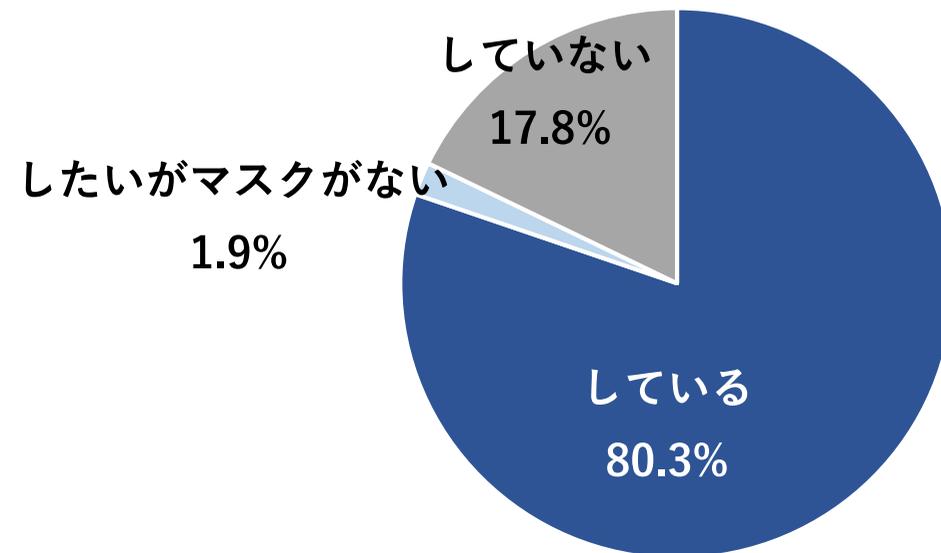
# マスクの使用状況について

- マスクを「している」という回答が大半を占める
- それぞれを比較すると公園利用のほうがマスクを「していない」割合が高い

買物のときのマスクの使用状況



公園を利用するときのマスクの使用状況



# まとめ

---

## 買物

- 外出する時間帯は**9時から18時までの時間に分散**している
- 買物する際の移動手段は「**徒歩・自転車**」「**自家用車**」が**96%**を占めており、「**家の近く**」の買物施設を選ぶ割合が**80%**となっている
- 緊急事態宣言発令前と比較して**買物の頻度が「減った」と回答した人が68%**、また、**買物の所要時間が「減った」と回答した人は47%**となっており、**外出自粛を意識して行動していることが考えられる**
- 「**インターネット通販**」「**宅配**」の利用状況が買物で外出する頻度に**影響している**と示唆される

# まとめ

---

## 公園利用

- 外出する時間帯は**朝から18時までの時間で分散**している
- 30%が1週間のうち1回以上公園**を利用していると回答しており、  
家族に**子どもがいると回答した人ほど公園利用の頻度が高い**
- 自分や子どもの運動を目的とする公園利用が多く、**外出自粛による運動不足やストレス発散のために利用している**ことが考えられる
- 東灘区、灘区にお住まいの方が、身近な公園の利用者数が「増えた」と回答した割合が高く、**居住区ごとに公園利用に差が生じている可能性が示唆**される